平成30年度
「議会報告会・意見交換会」
報告書

矢板
市議会

目　次

- 簡易総括　対前年度比較・・・

■1-1. 簡易総括　対前年度比較

		泉	片岡	矢板
参加者数		減（24人→20人）	減（39人→24人）	減（44人→21人）
参加者属性	男女比	変化なし （男性＞女性）		
	年齢構成	60代（59%）、50代減	60・70代（90%越え）、40・50代減	50代減（29%）、70代増
	認知メディア	・直配紙メディア（広報、議会だより、回覧チラシなど）が強い。		
開催フレーム		１回/3地区/平日夜間。 フレームニーズに変化なし。		
議会報告会	内容理解度	・「わかりやすい」増（56%→65%） ・「わかりにくい」減（13%→6%）	・「わかりやすい」減（50%→39%） ・「わかりにくい」増（8%→33%）	・「わかりやすかった」増（39%→60%）
	時間	・「ちょうどよい」減（71%→50%） ・「短い」増(18%→50%)	・「ちょうどよい」増（60%→74%）	・「ちょうどよい」（60%） ・「短い」増(23%→33%)
意見交換会	満足度	・「よかった」増（63%→81%） ・「よくなかった」減（6%→0%)	・「よかった」増（52%→69%）	・「よかった」増（45%→79%）
	時間	・「ちょうどよい」（56%→69%） ・「長い」減(25%→0%)	・「ちょうどよい」（86%）	「ちょうどよい」増（59%→69%） 「長い」増(25%→31%)

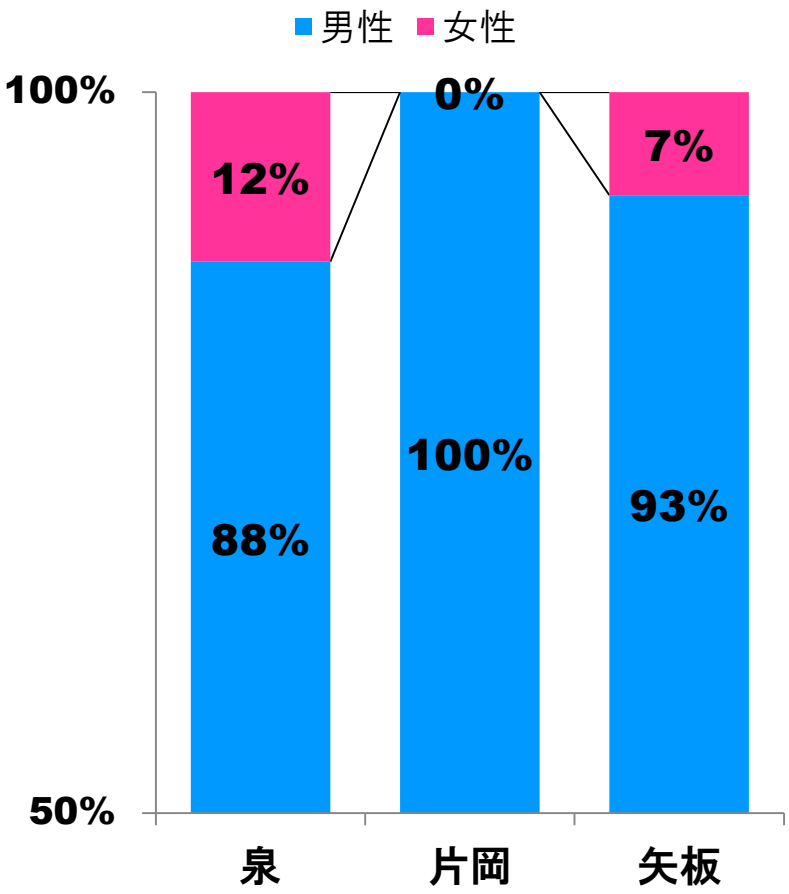
■1−2. 会場別 基礎データ

開催日	会場	担当議員 ※◎:班長、〇:副班長	参加者数	アンケート回収数	アンケート回収率
10月10日 （水）	泉公民館 集会室	◎小林　勇治　〇藤田　欽哉 宮本　妙子　中村　有子 大貫　雄二	２０	１７	８５％
10月11日 （木）	片岡コミュニティ ホール	◎伊藤　幹夫　〇髙瀬　由子 佐貫　薫　石井　侑男 今井　勝巳	２４	２１	８８％
10月12日 （金）	矢板市文化会館 小ホール	◎関　由紀夫　〇櫻井　惠二 中村　久信　渡邉　孝一 大島　文男	２１	１５	７１％
		合計	６５	５３	８２％

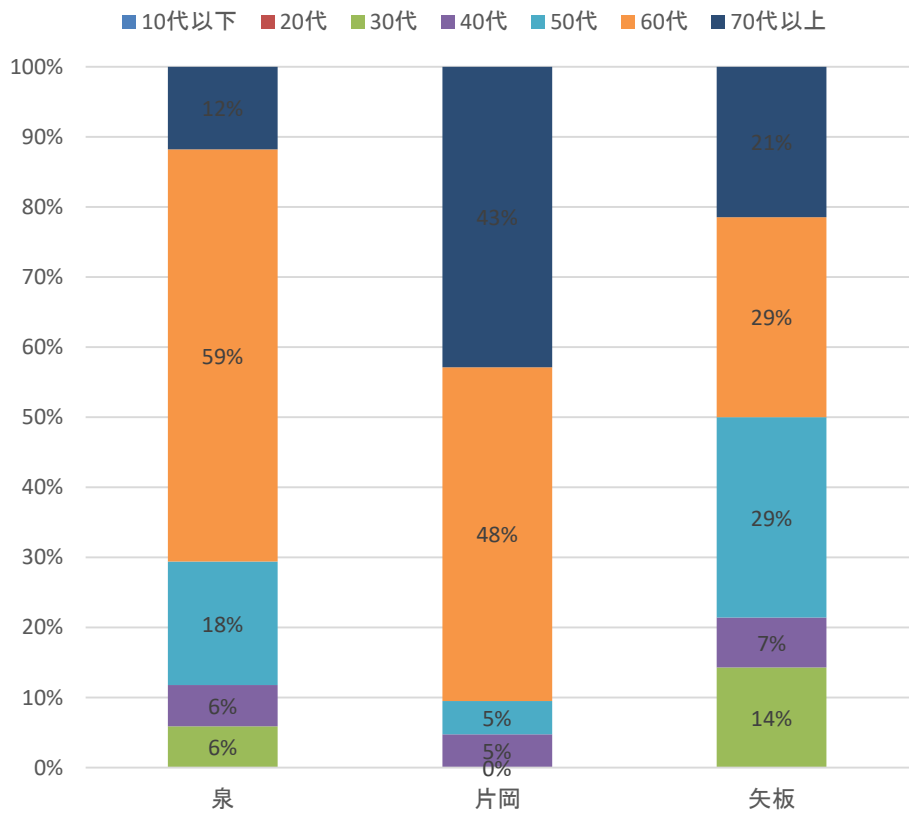
■2. ご参加者アンケート分析

Q1 ご自身についてお聞かせください。

男女比

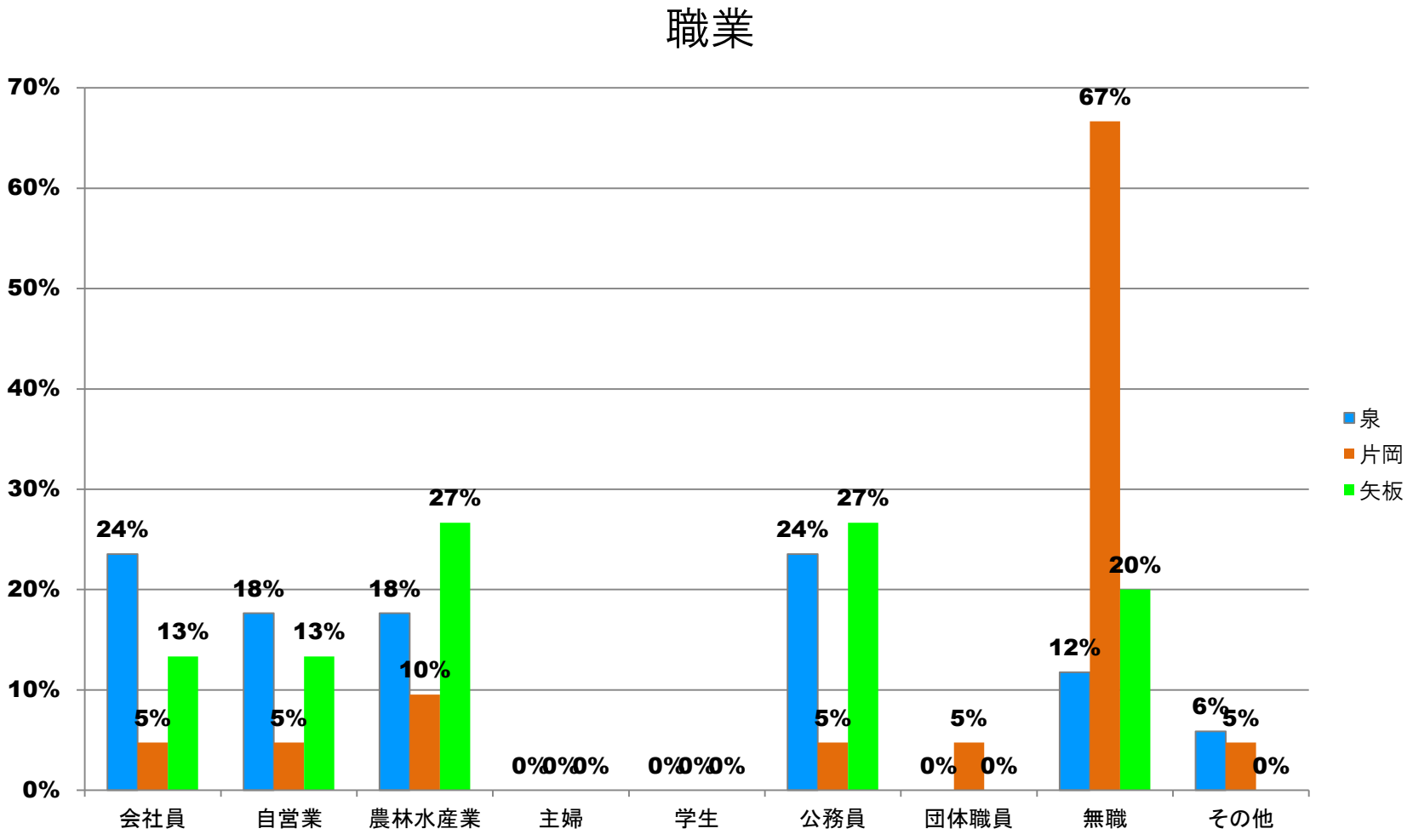


年齢構成



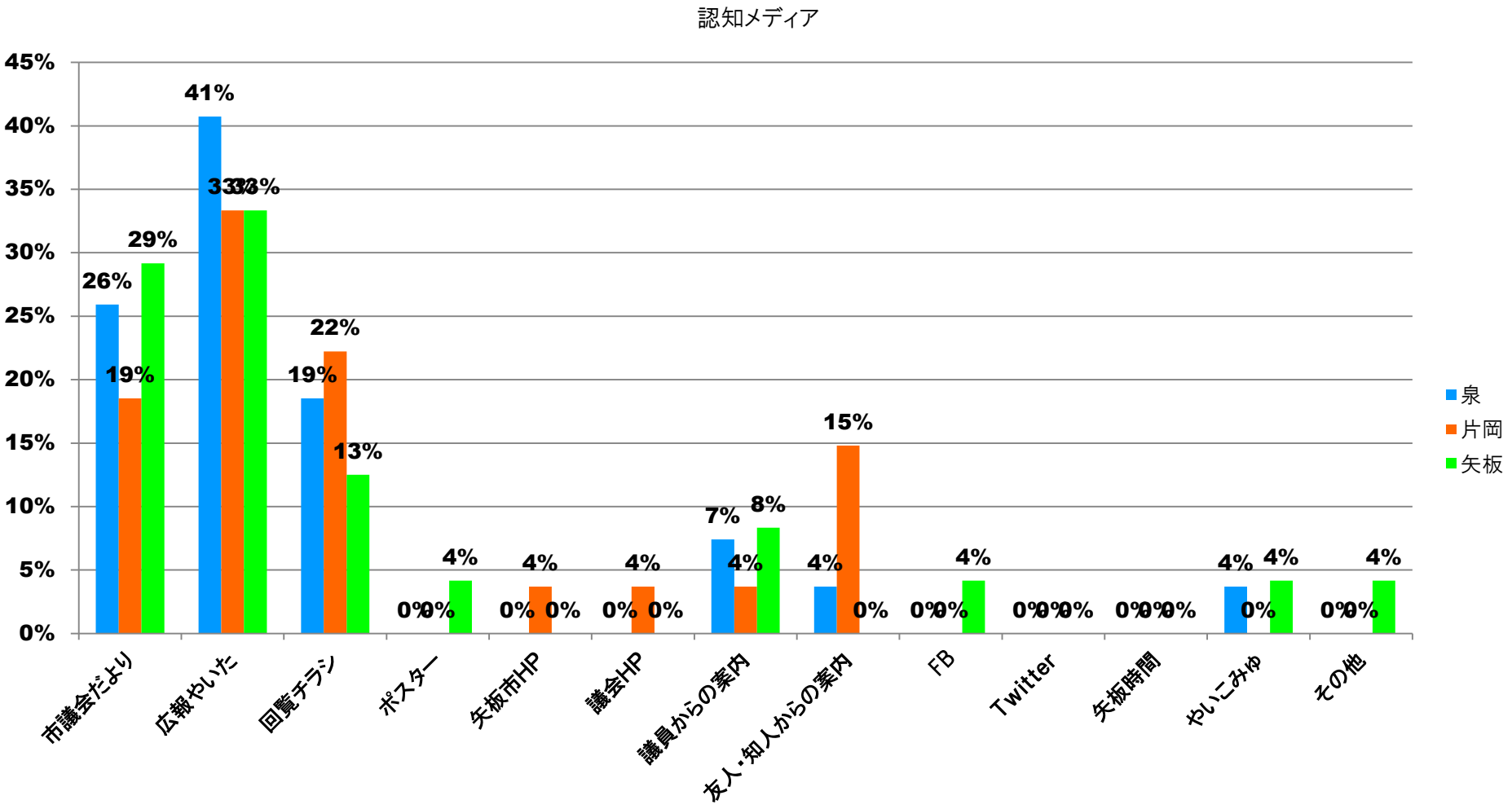
■2. ご参加者アンケート分析

Q2　ご職業をお聞かせください。



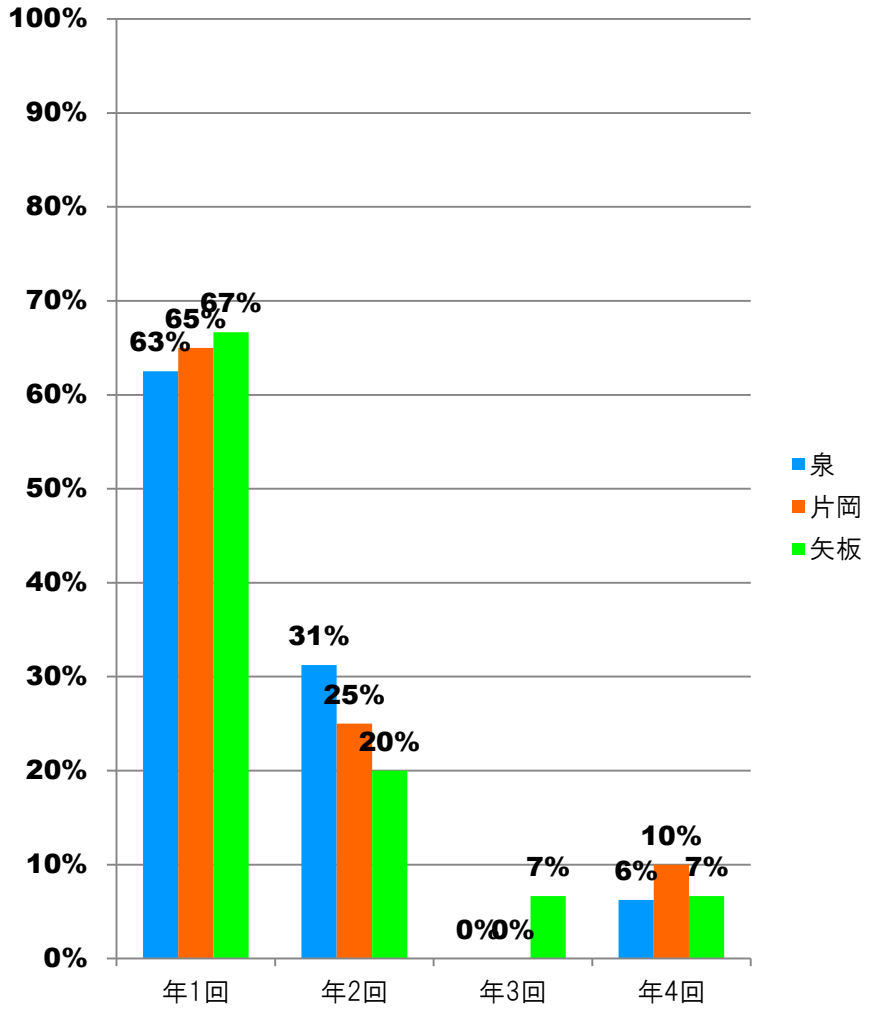
■2. ご参加者アンケート分析

Q3. どのようにして「議会報告会・意見交換会」を知りましたか？　※複数回答可

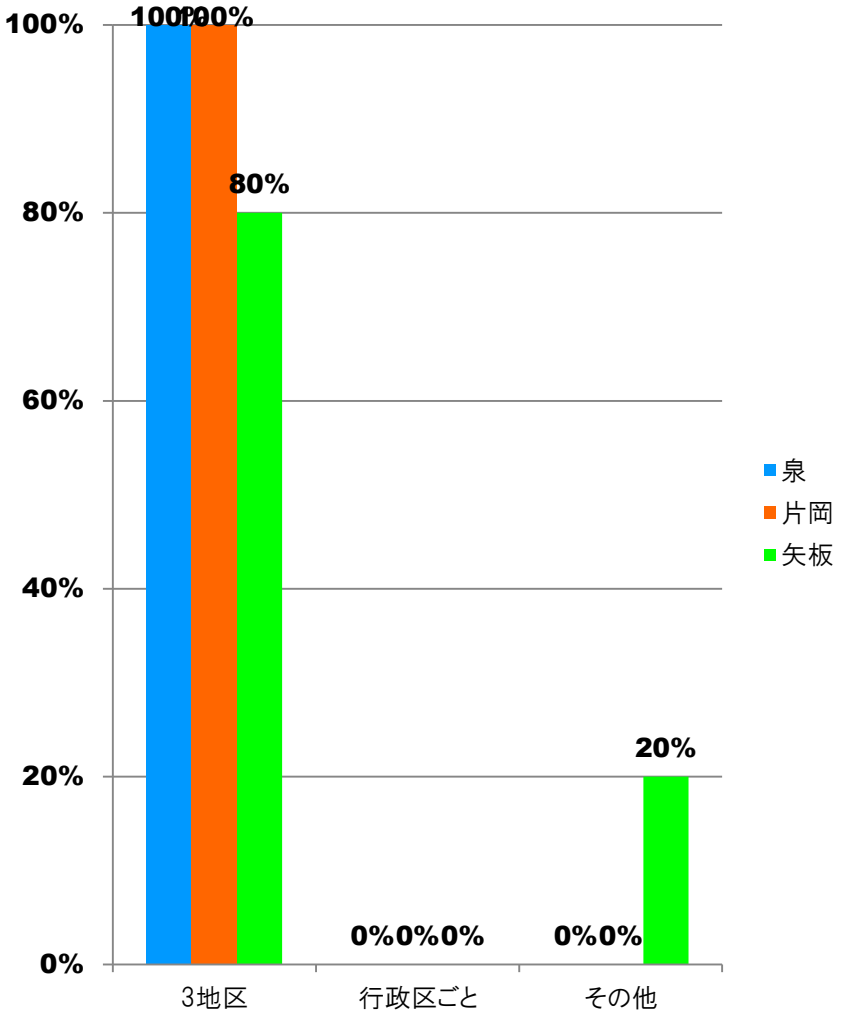


■2. ご参加者アンケート分析

Q4　開催回数はどの程度がよいと思いますか？

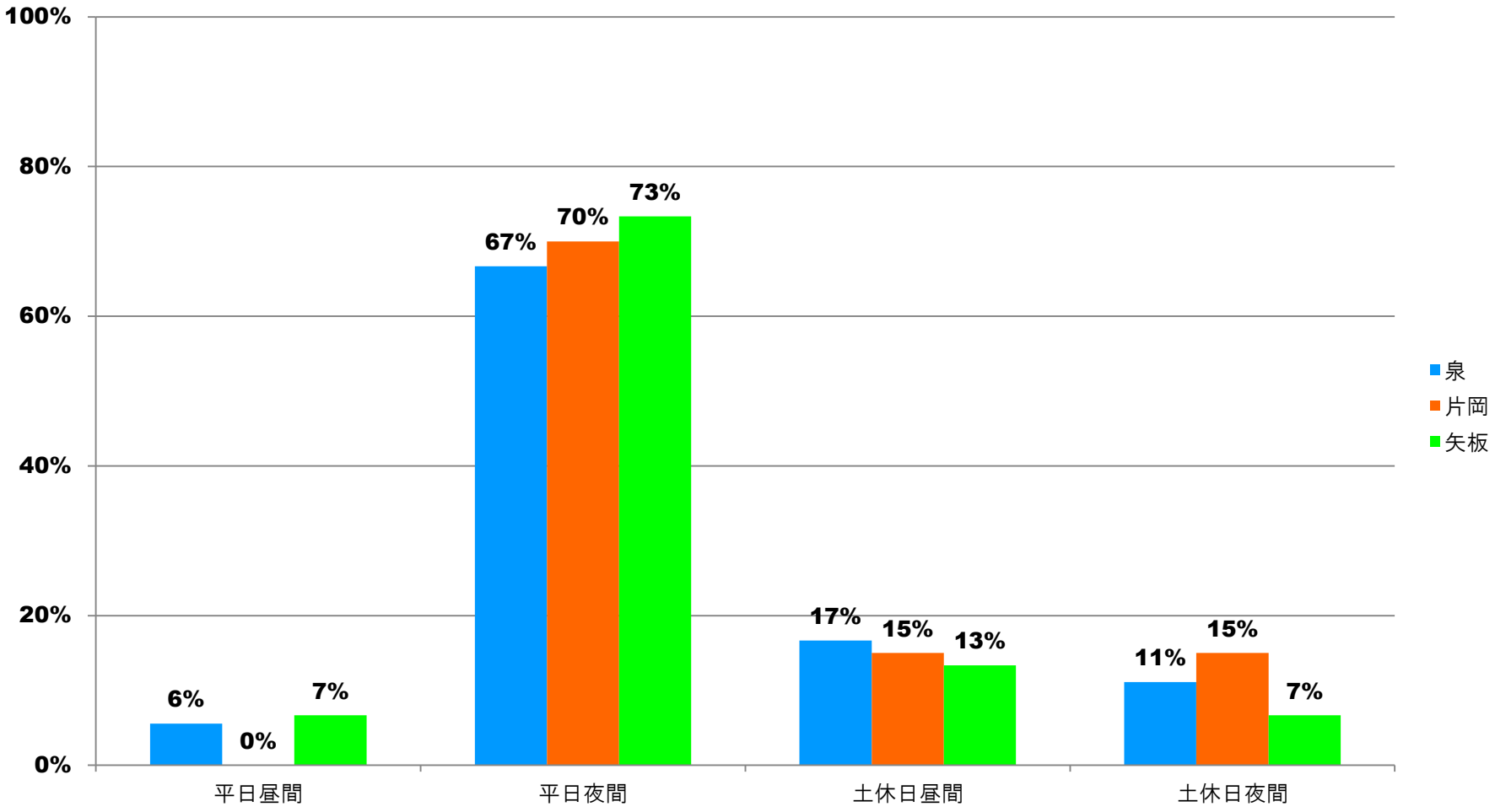


Q5　今後、開催場所はどこがよいと思いますか？



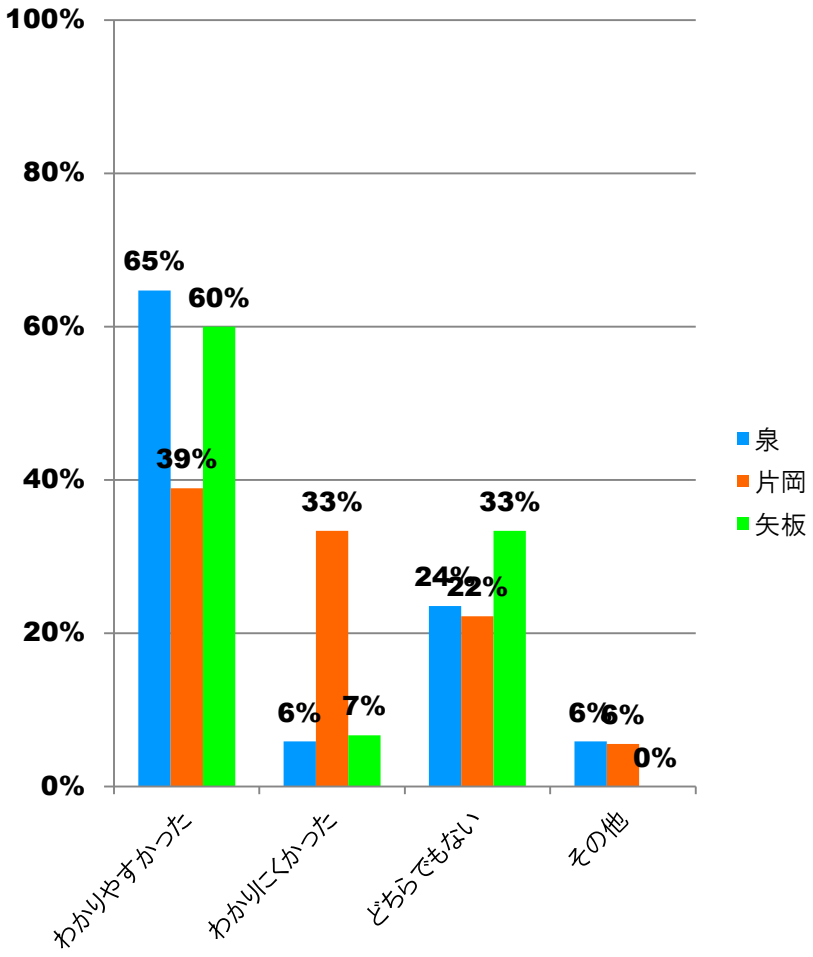
■2. ご参加者アンケート分析

Q6　開催する時間帯は、いつごろがよいと思いますか？

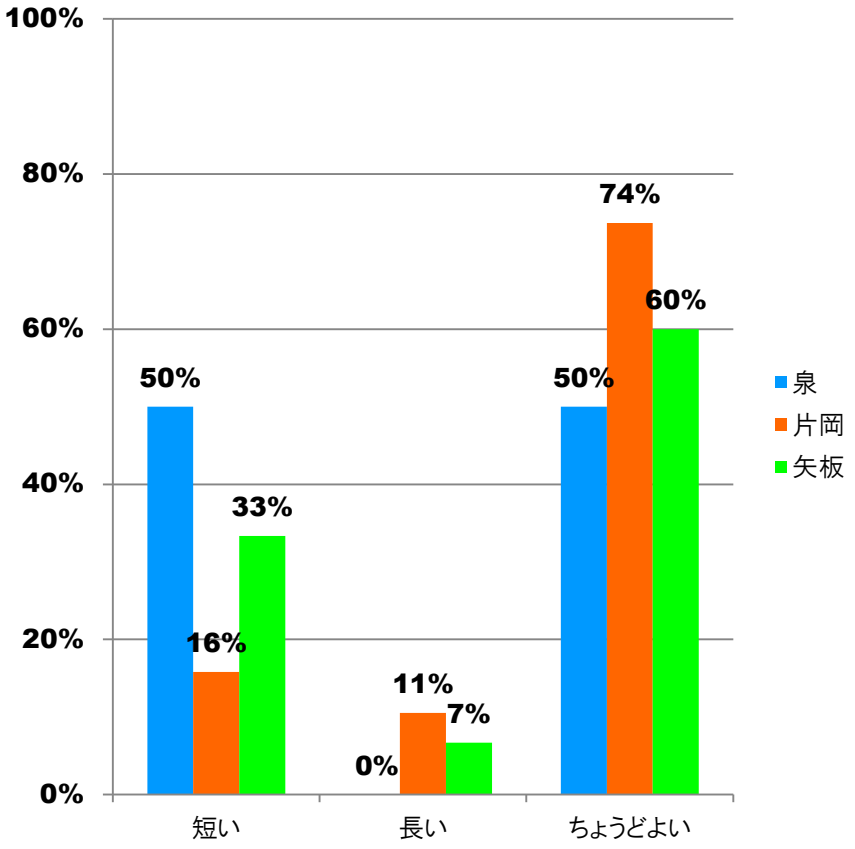


■2. ご参加者アンケート分析

Q7　第1部 議会報告会の内容は、
わかりやすかったですか？

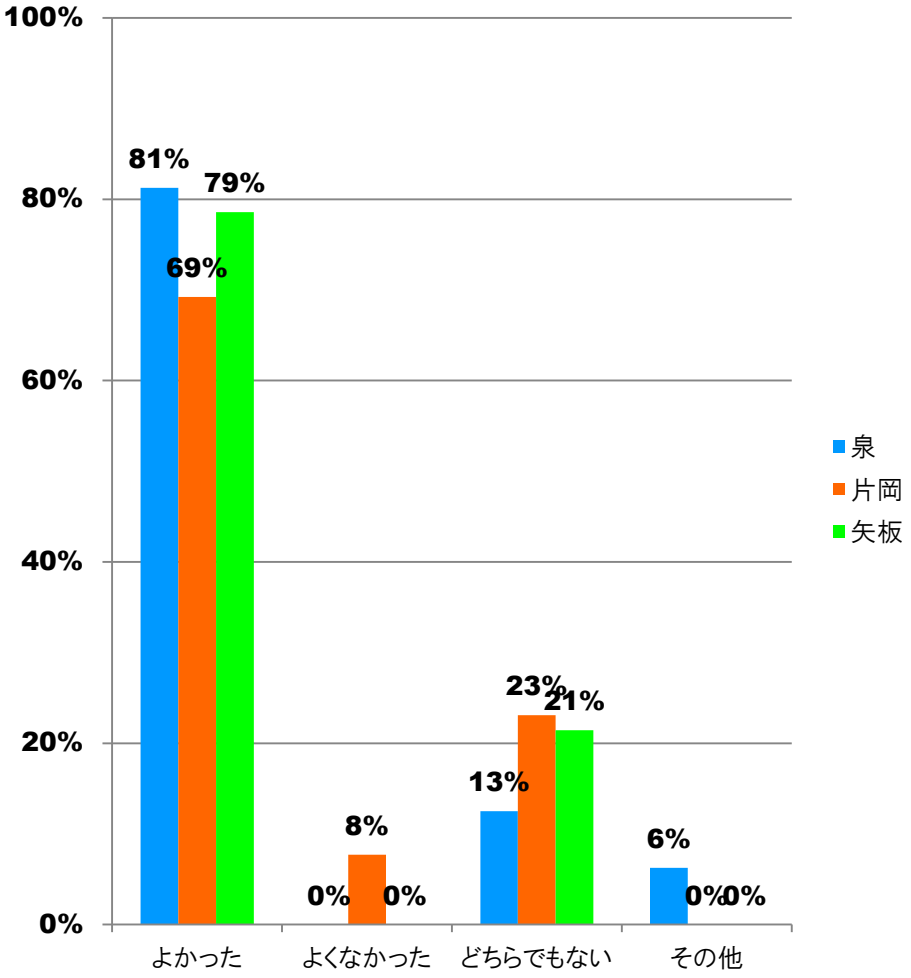


Q8　第1部 議会報告会の時間はどうでしたか？

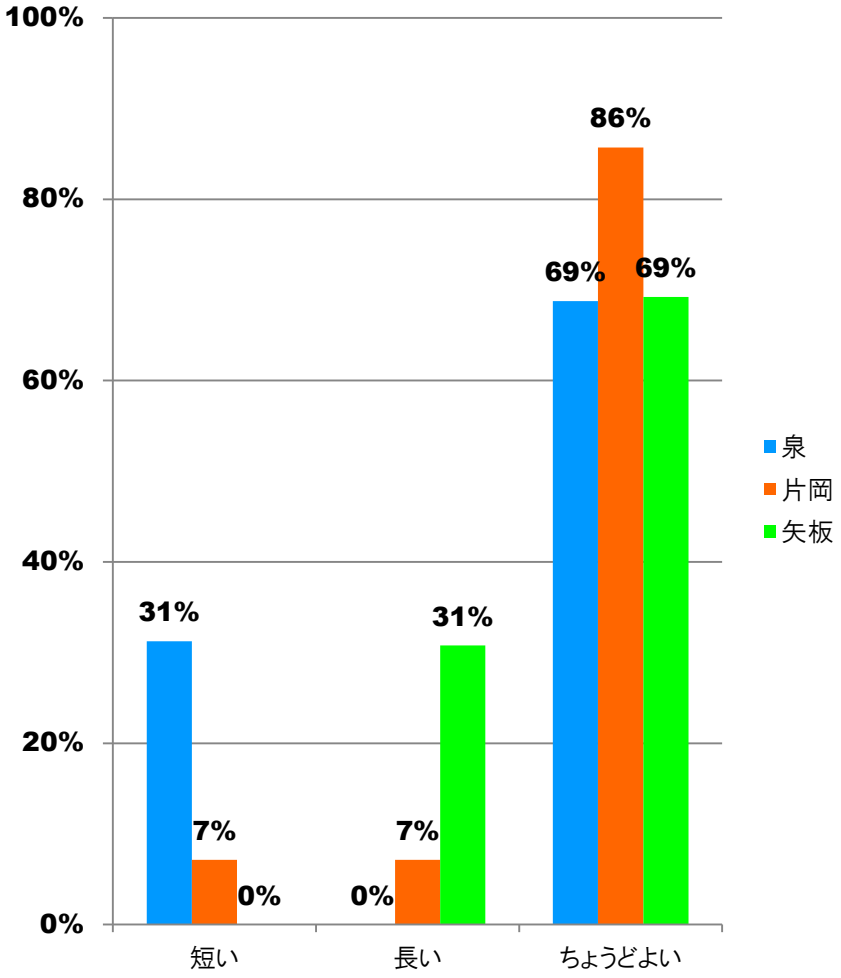


■2. ご参加者アンケート分析

Q9　第2部　意見交換会はどうでしたか？



Q10 第2部　意見交換会の時間はどうでしたか？



■3. ご参加者アンケート　比較分析

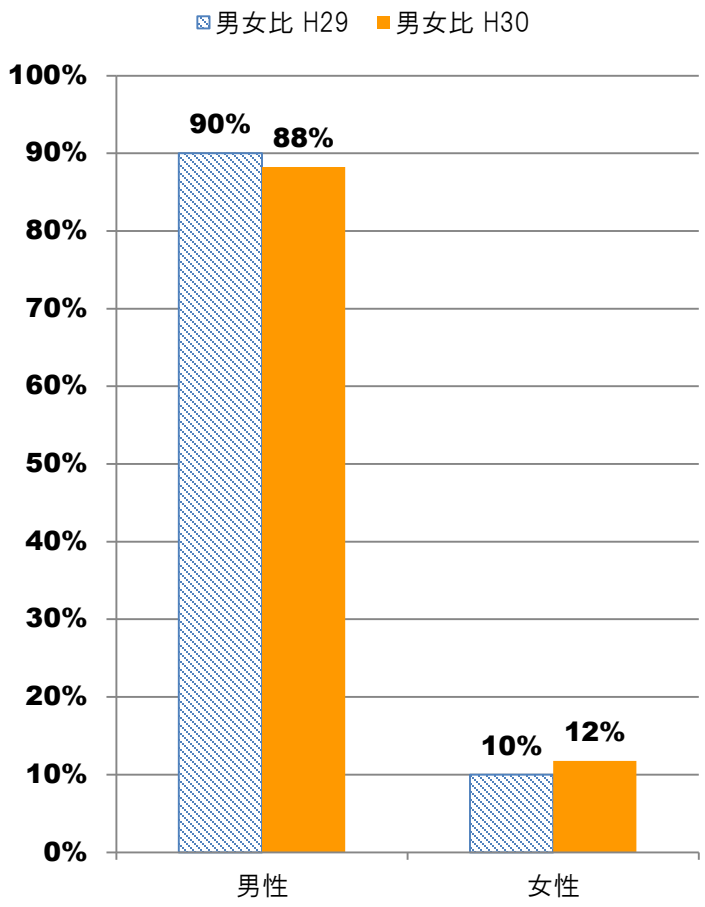
会場別 × 過年度比較

1. 泉
2. 片岡
3. 矢板

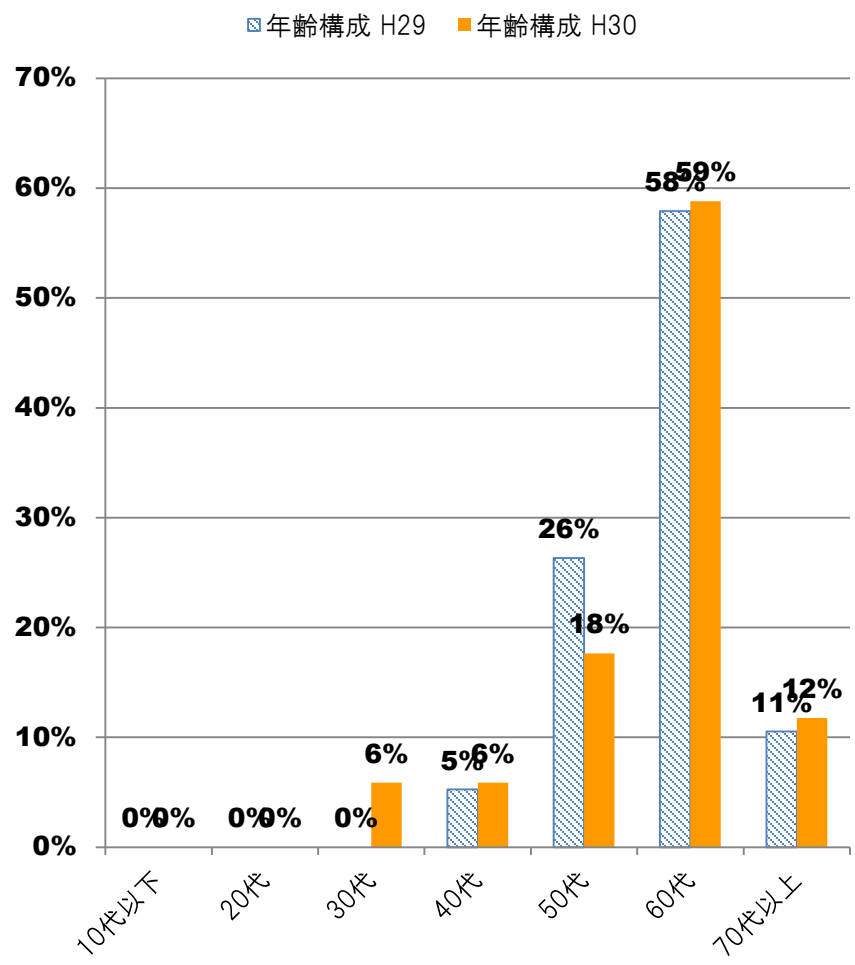
■3-1 比較分析 ＜＜泉＞＞

Q1 ご自身についてお聞かせください。

男女比

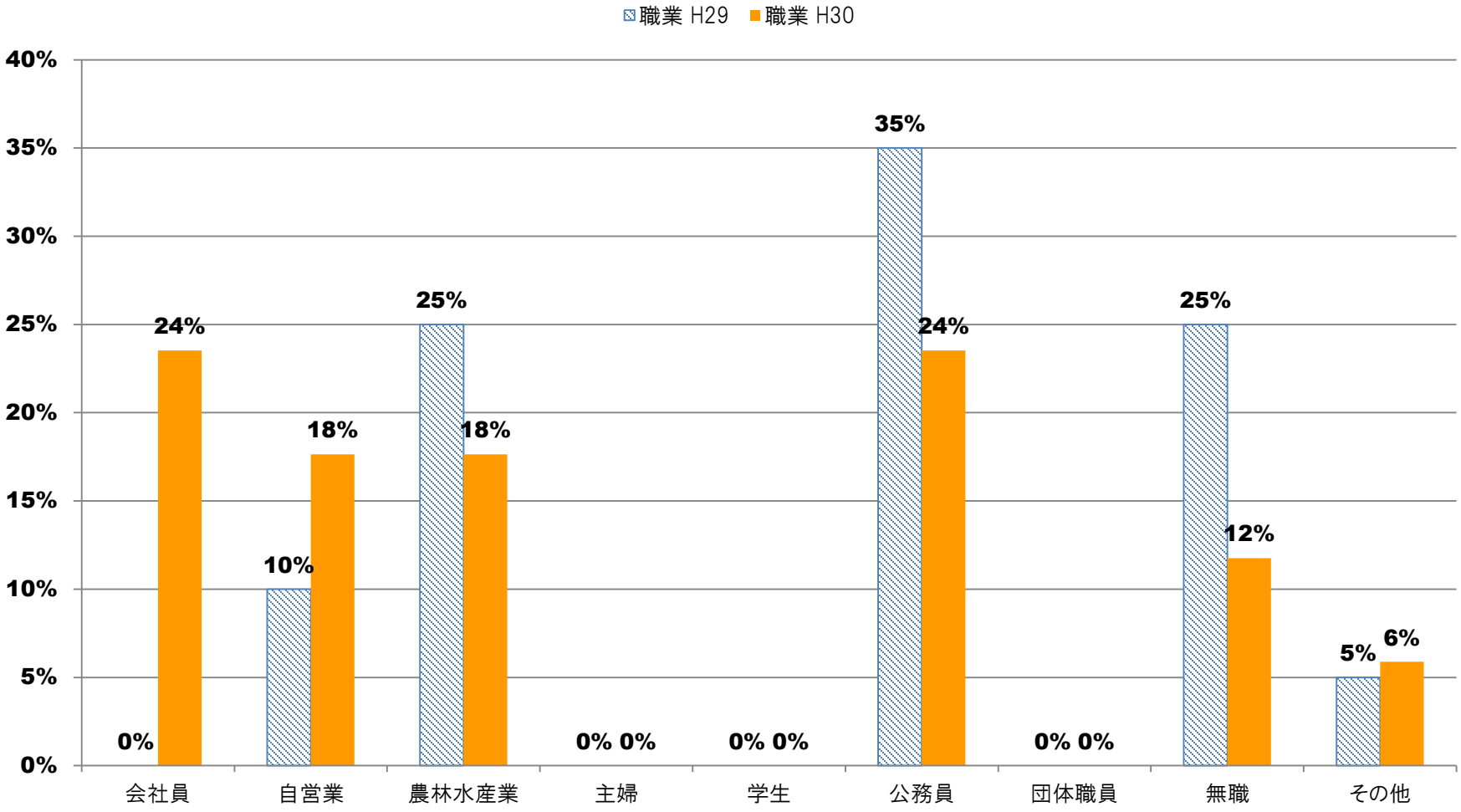


年齢構成



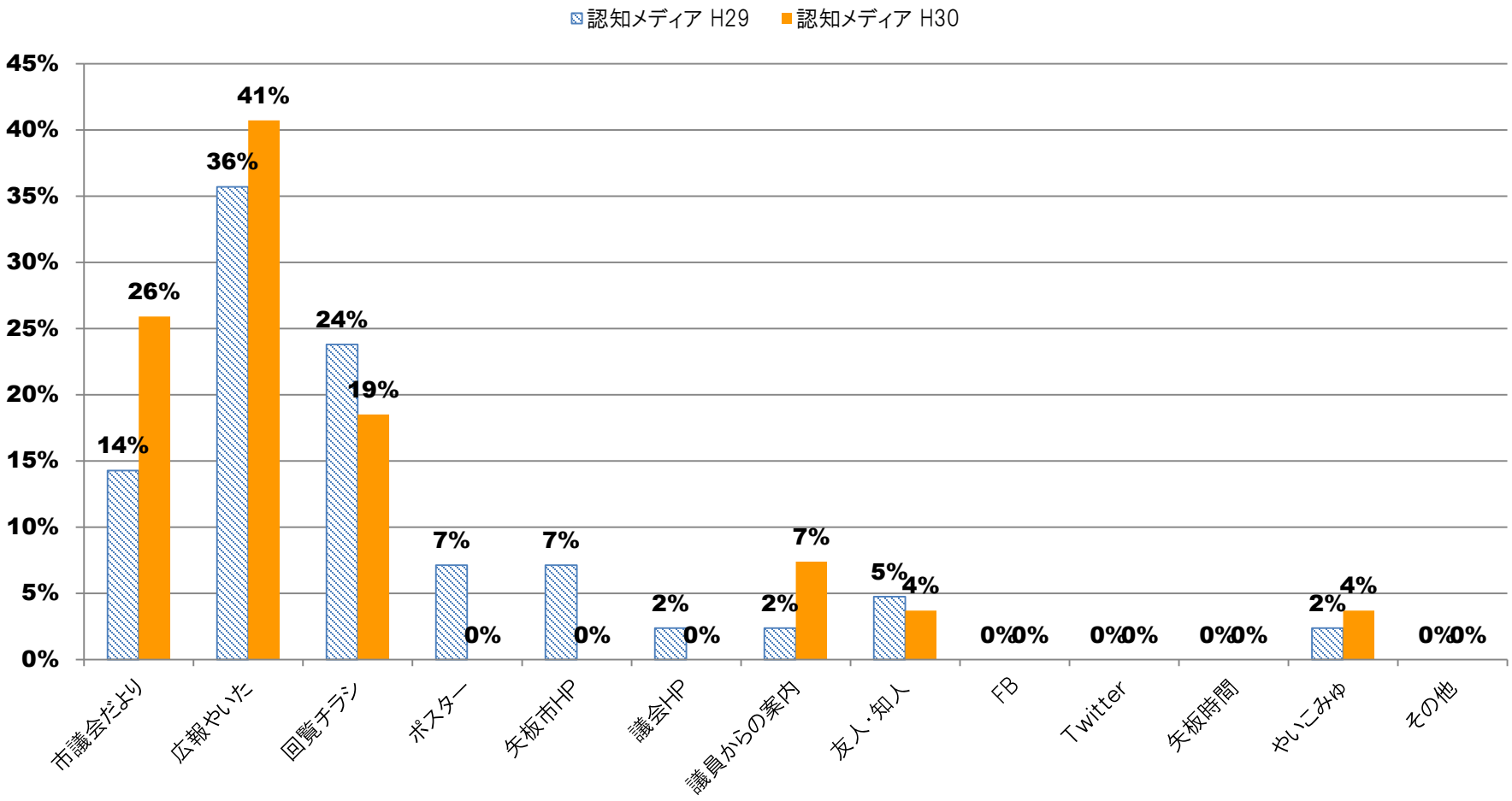
■3-1　比較分析　＜＜泉＞＞

Q2　ご職業をお聞かせください。



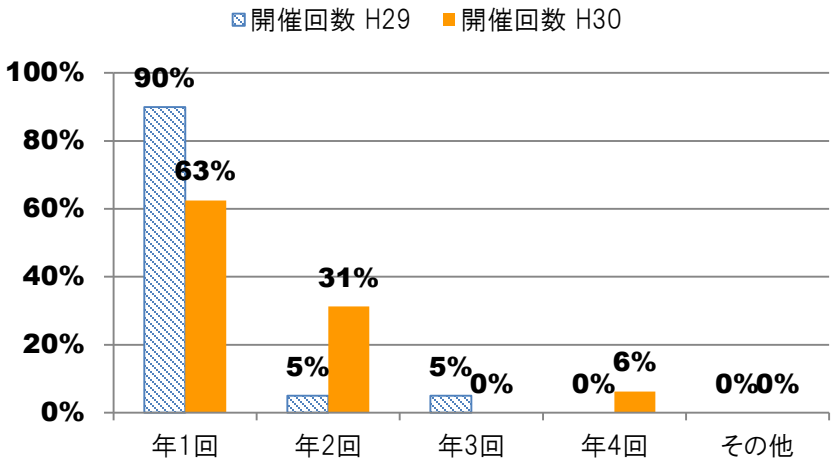
■3-1　比較分析　＜＜泉＞＞

Q3. どのようにして「議会報告会・意見交換会」を知りましたか？　※複数回答可

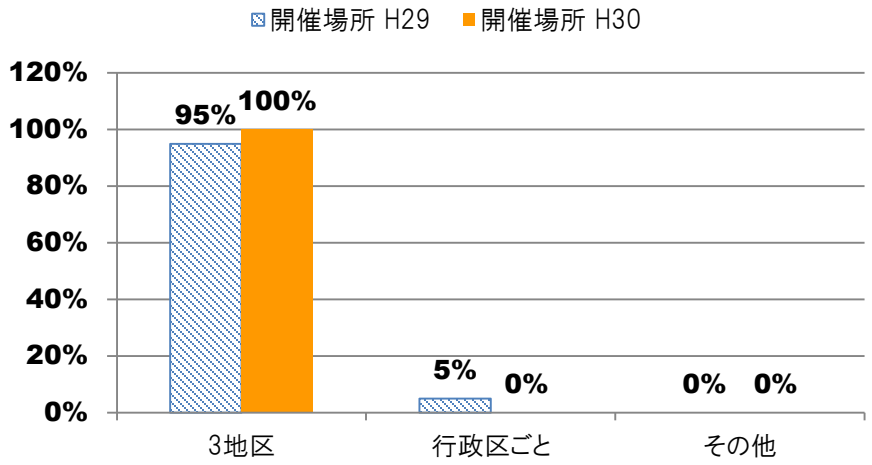


■3-1 比較分析 ＜＜泉＞＞

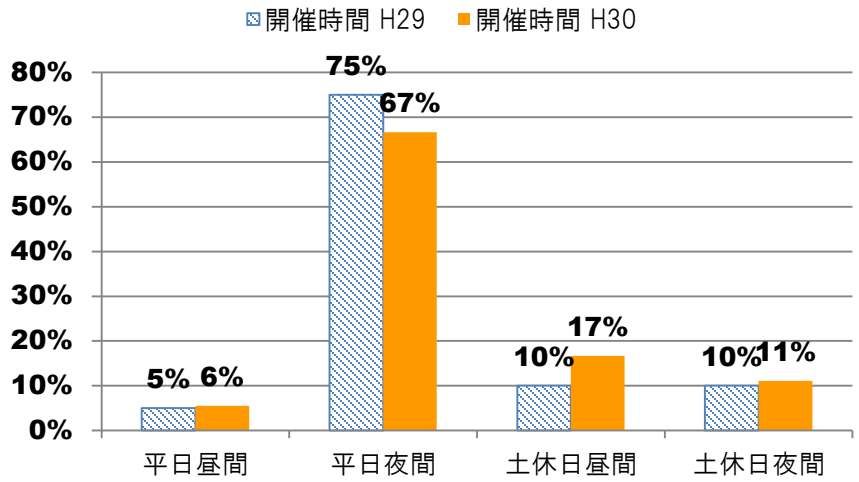
Q4 開催回数はどの程度がよいと思いますか？



Q5 今後、開催場所はどこがよいと思いますか？

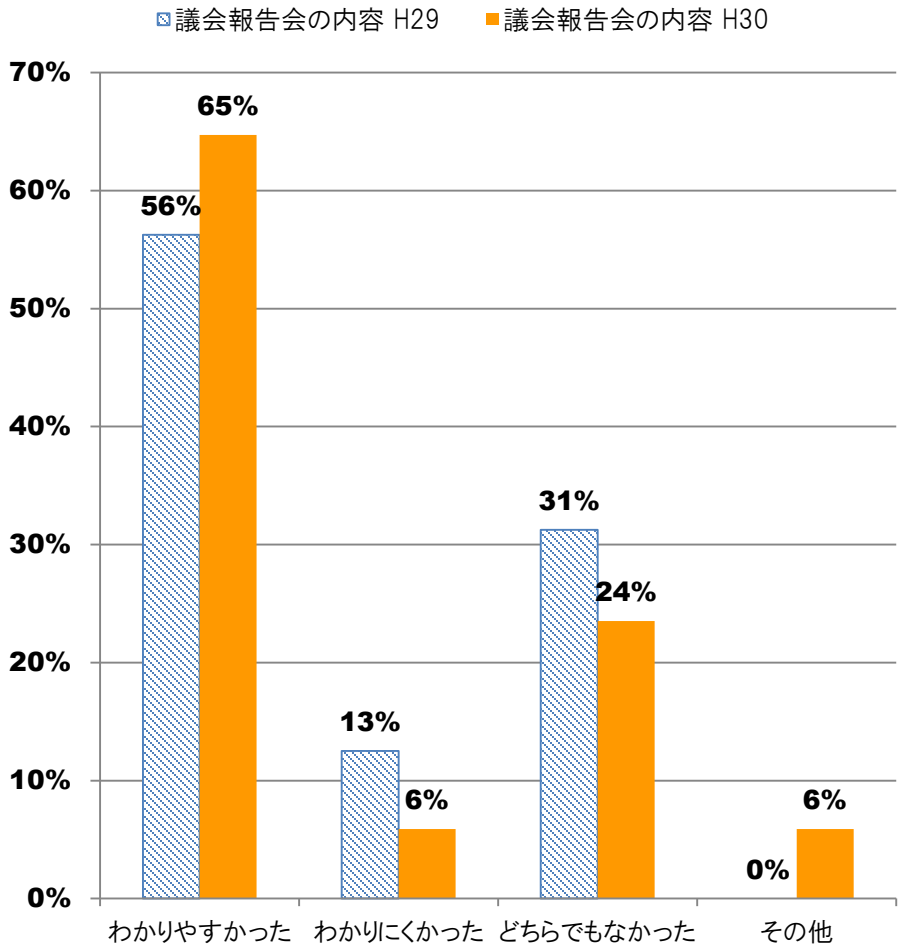


Q6 開催する時間帯は、いつごろがよいと思いますか？

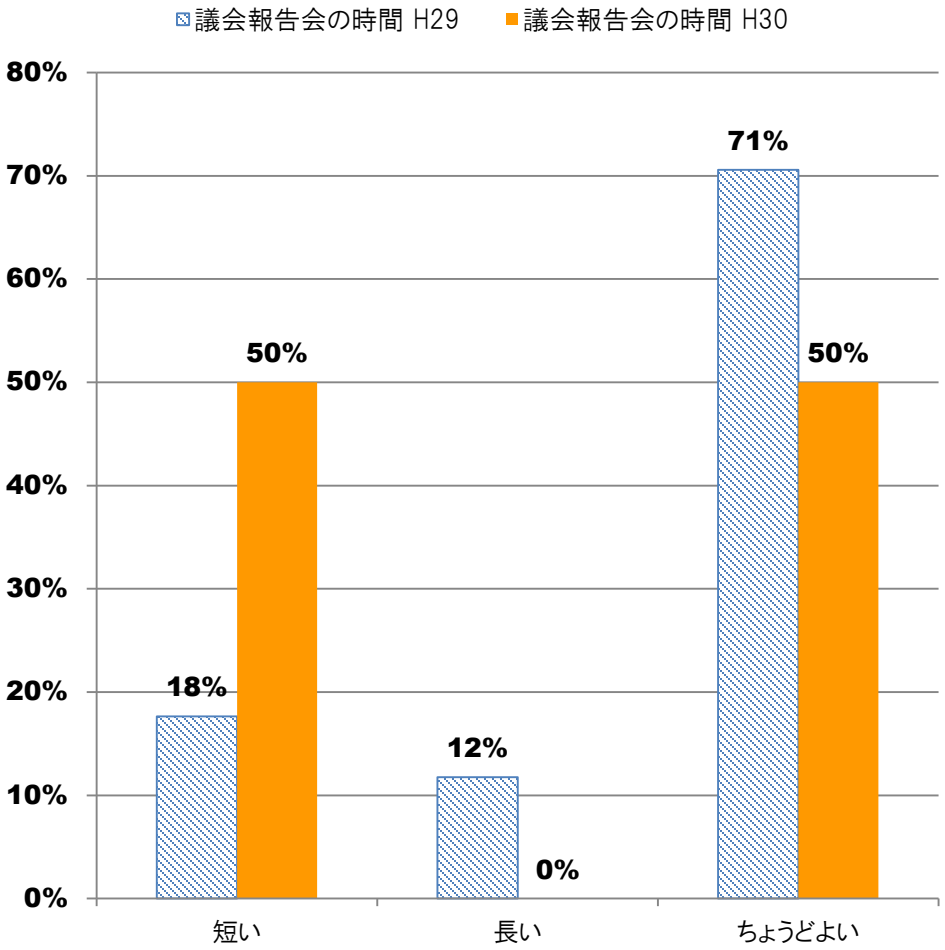


■3−1　比較分析　＜＜泉＞＞

Q7　第1部 議会報告会の内容は、わかりやすかったですか？

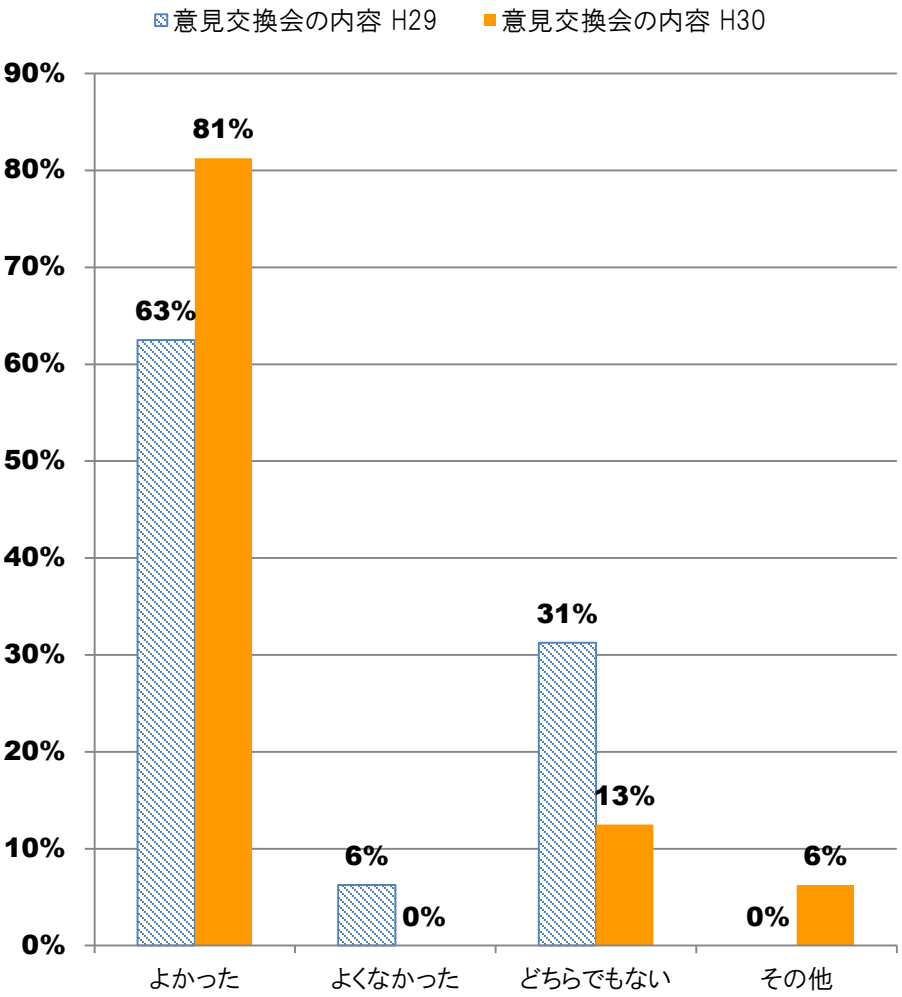


Q8　第1部 議会報告会の時間はどうでしたか？

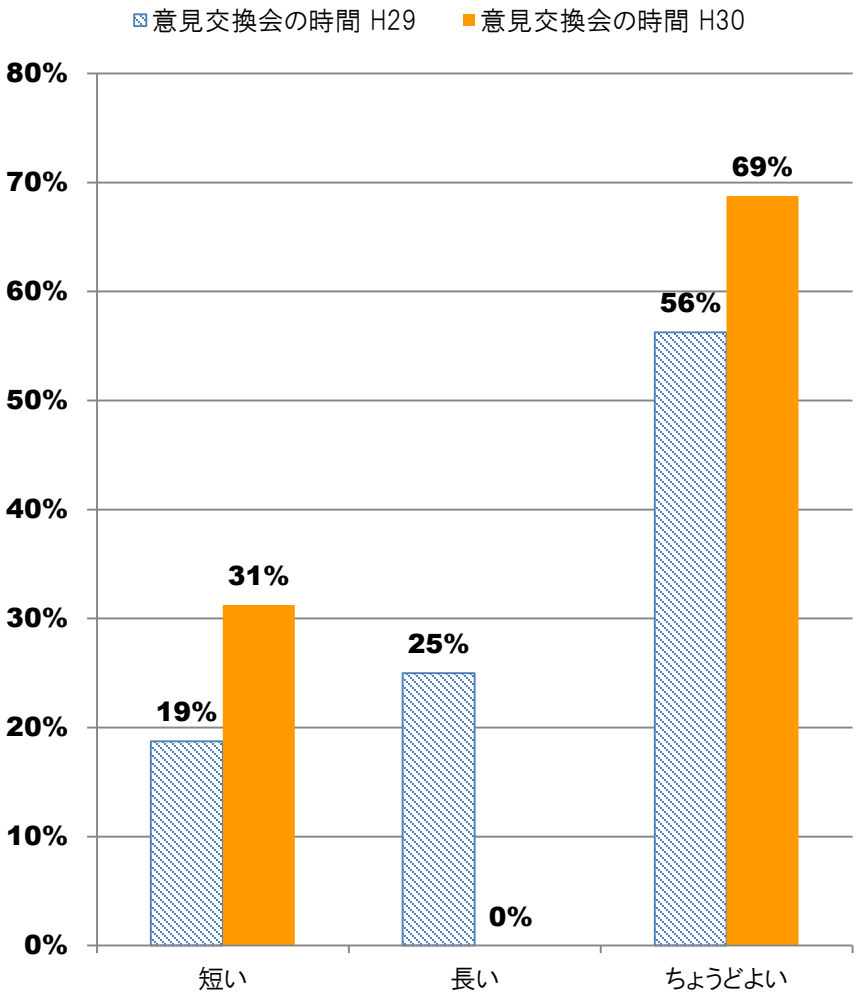


■3−1　比較分析　＜＜泉＞＞

Q9　第2部　意見交換会はどうでしたか？



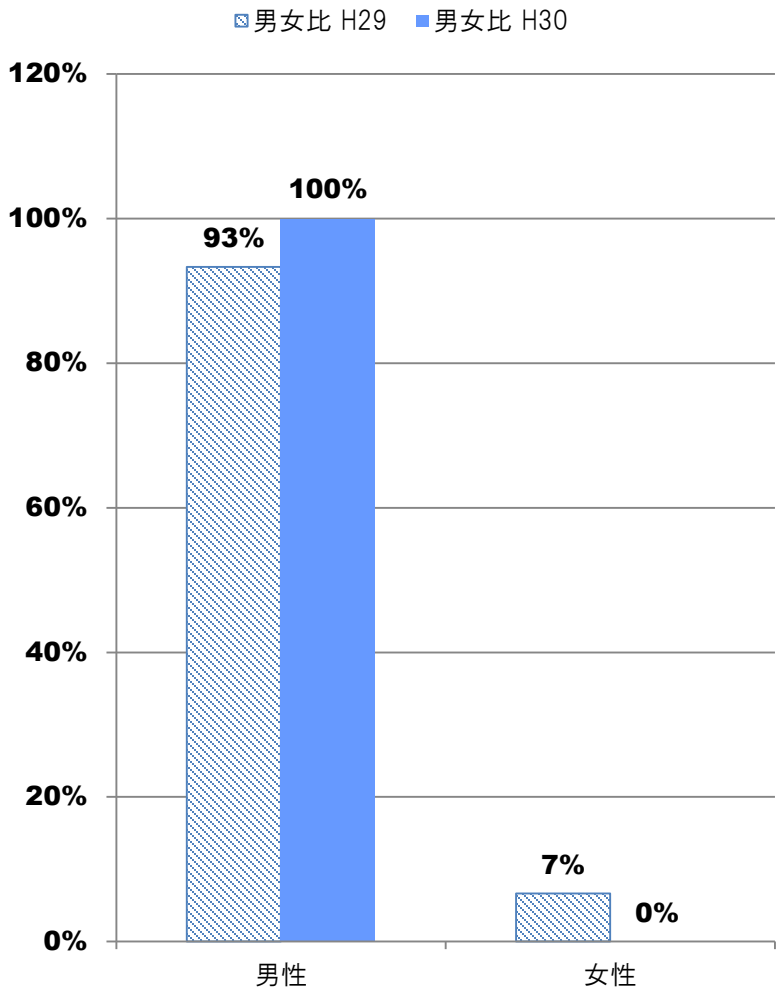
Q10 第2部　意見交換会の時間はどうでしたか？



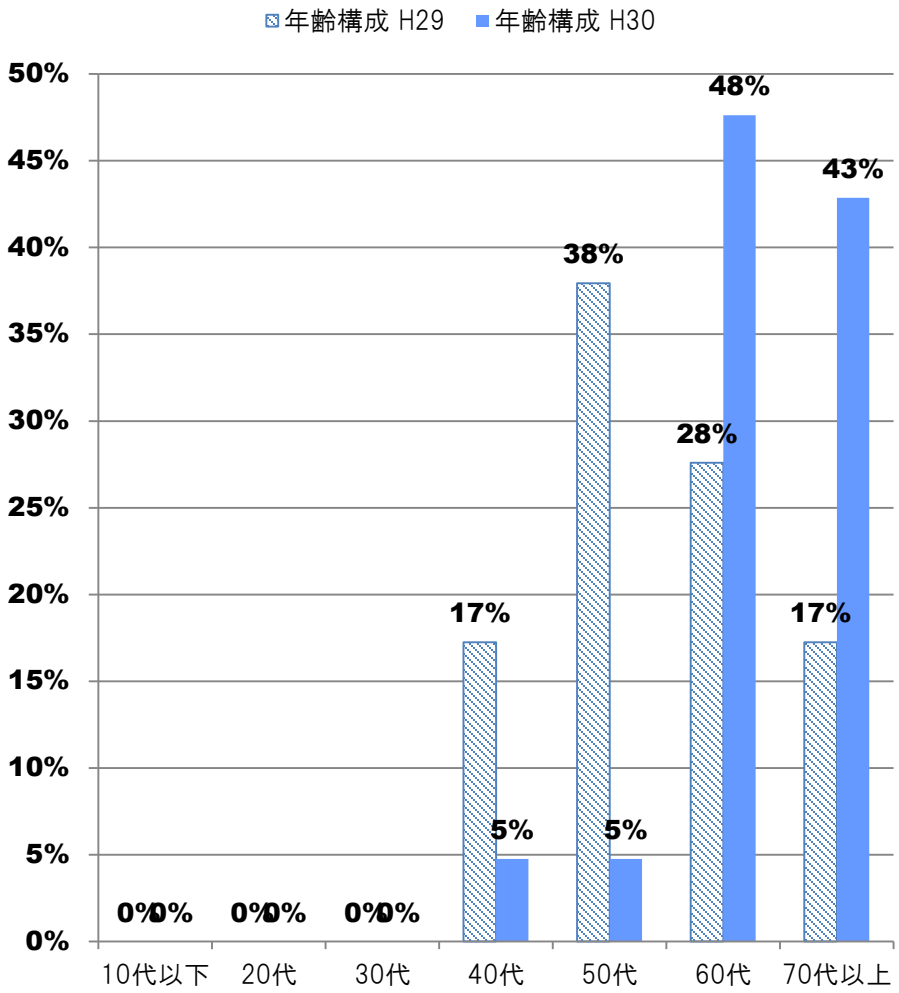
■3-2 比較分析 ＜＜片岡＞＞

Q1 ご自身についてお聞かせください。

男女比

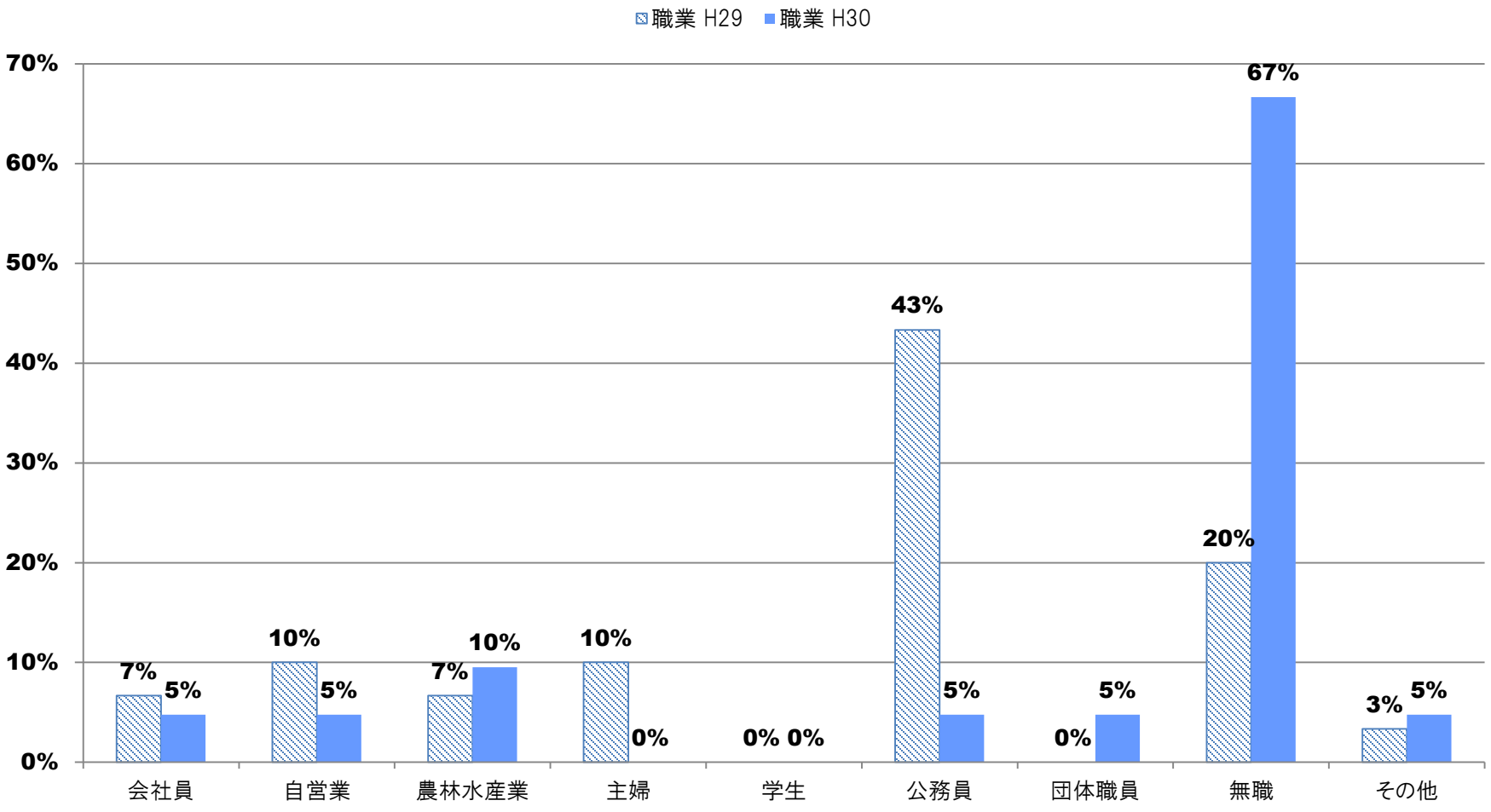


年齢構成



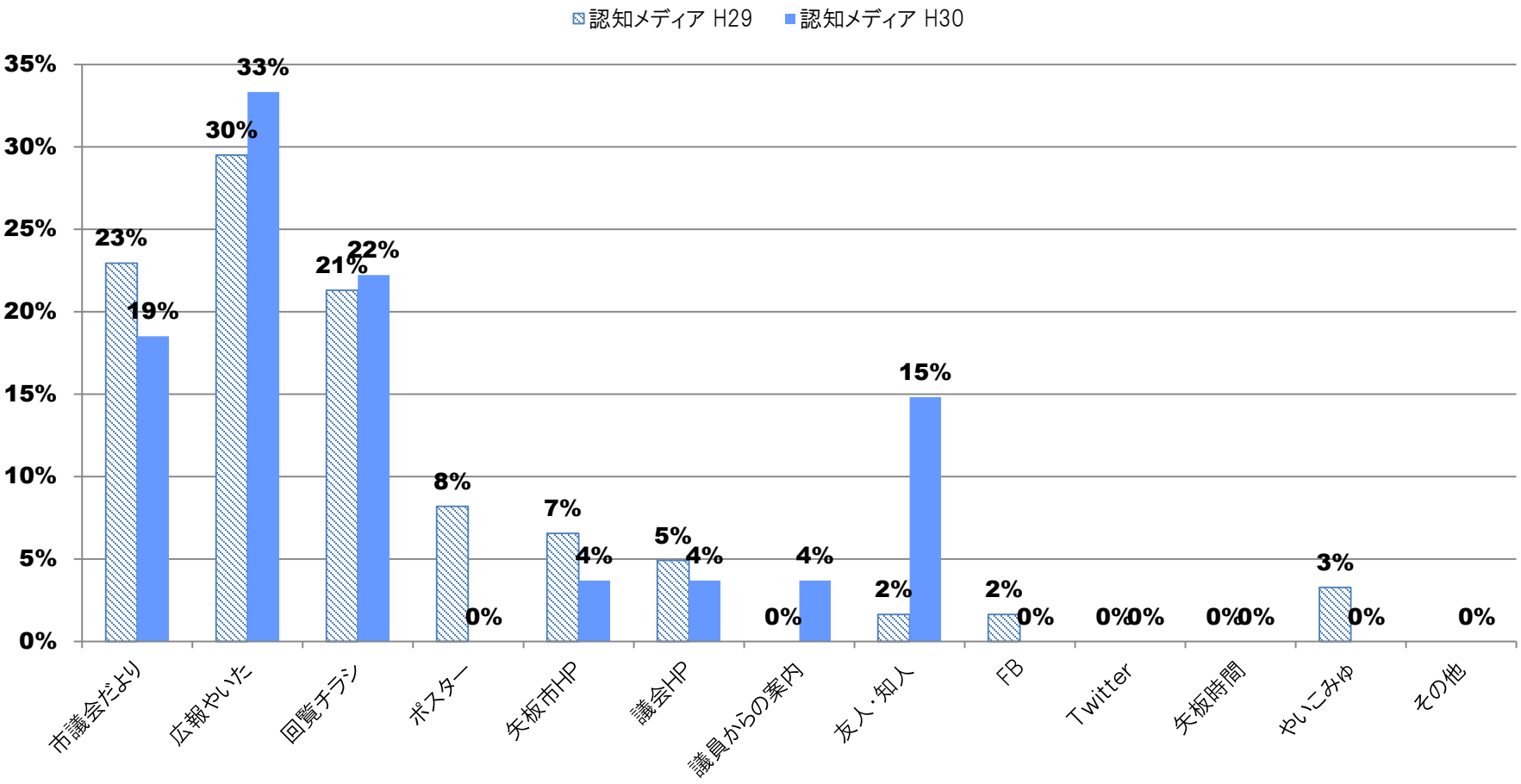
■3−2　比較分析　＜＜片岡＞＞

Q2　ご職業をお聞かせください。



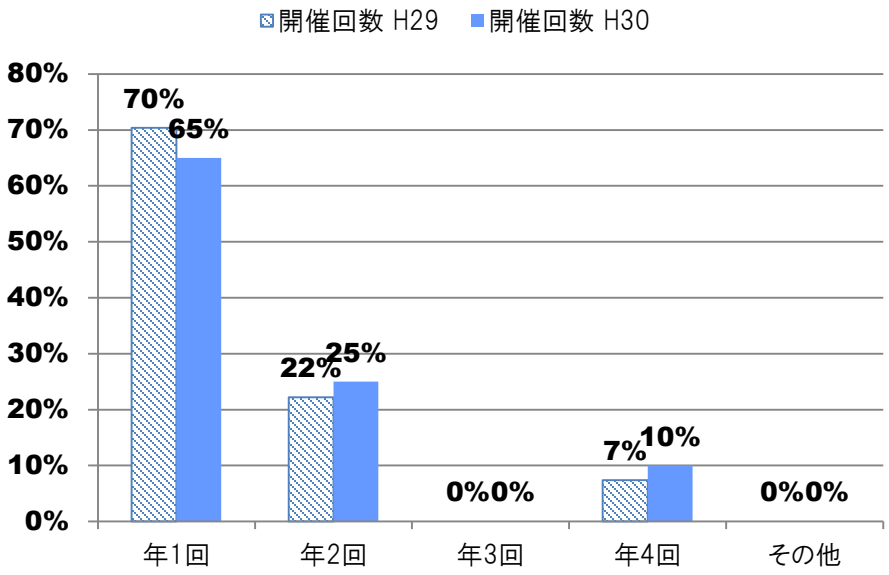
■3−2 比較分析 ＜＜片岡＞＞

Q3. どのようにして「議会報告会・意見交換会」を知りましたか？ ※複数回答可

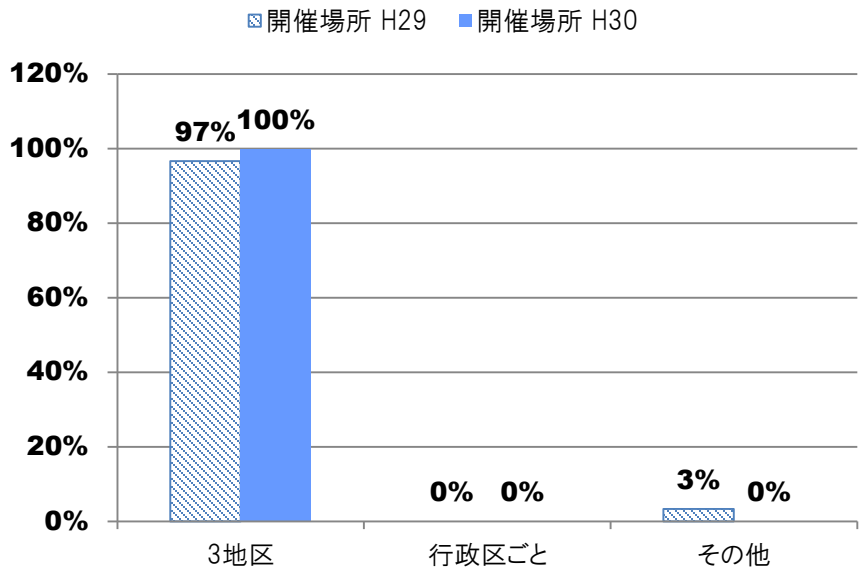


■3-2 比較分析 ＜＜片岡＞＞

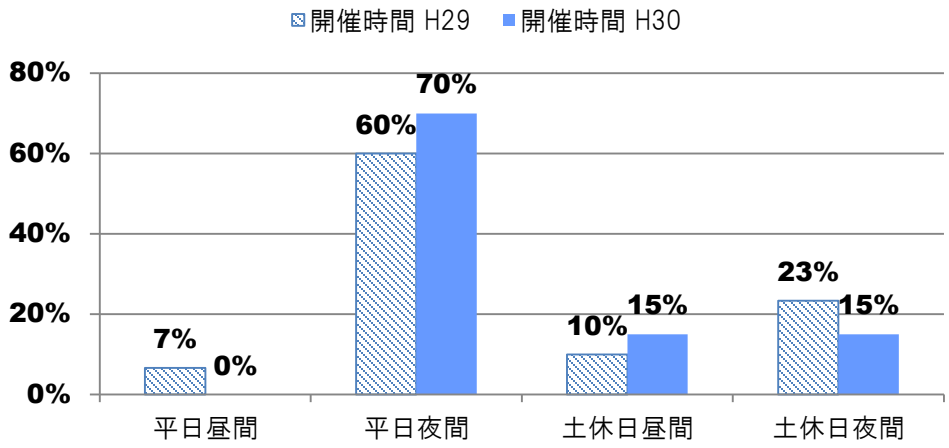
Q4 開催回数はどの程度がよいと思いますか？



Q5 今後、開催場所はどこがよいと思いますか？

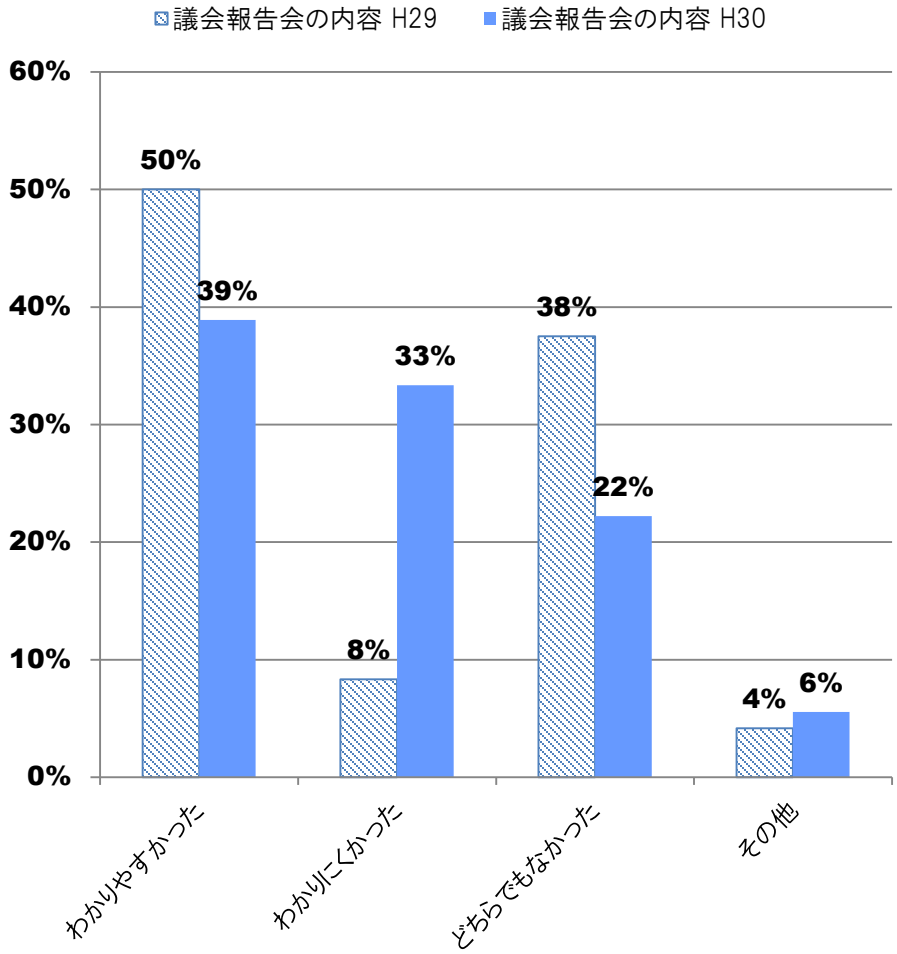


Q6 開催する時間帯は、いつごろがよいと思いますか？

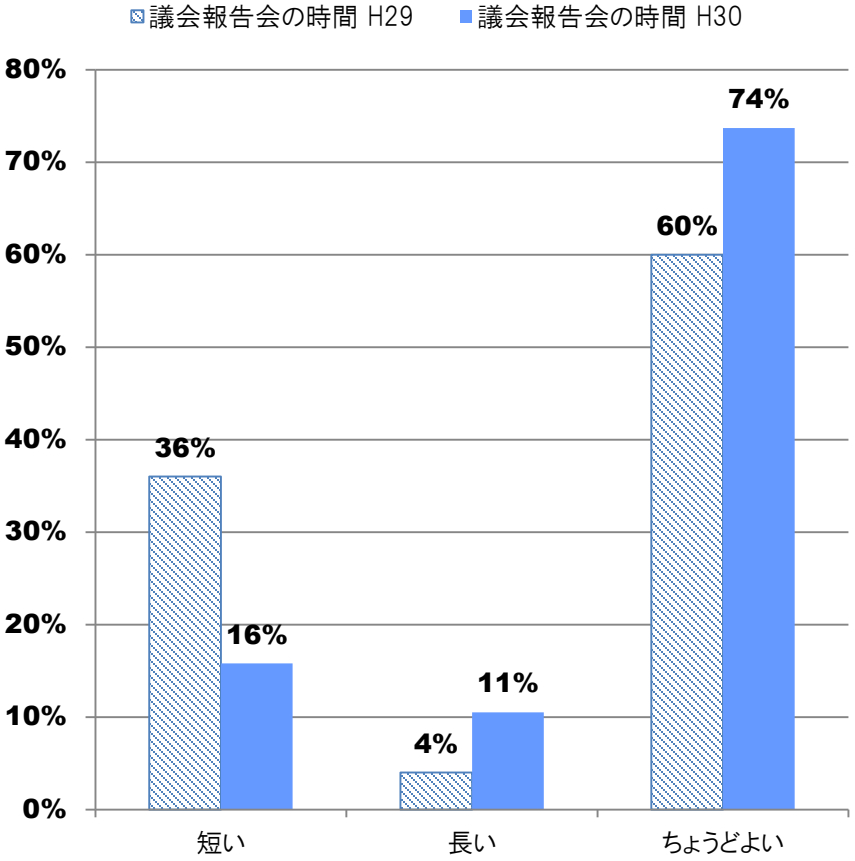


■3−2 比較分析 ＜＜片岡＞＞

Q7 第1部 議会報告会の内容は、わかりやすかったですか？

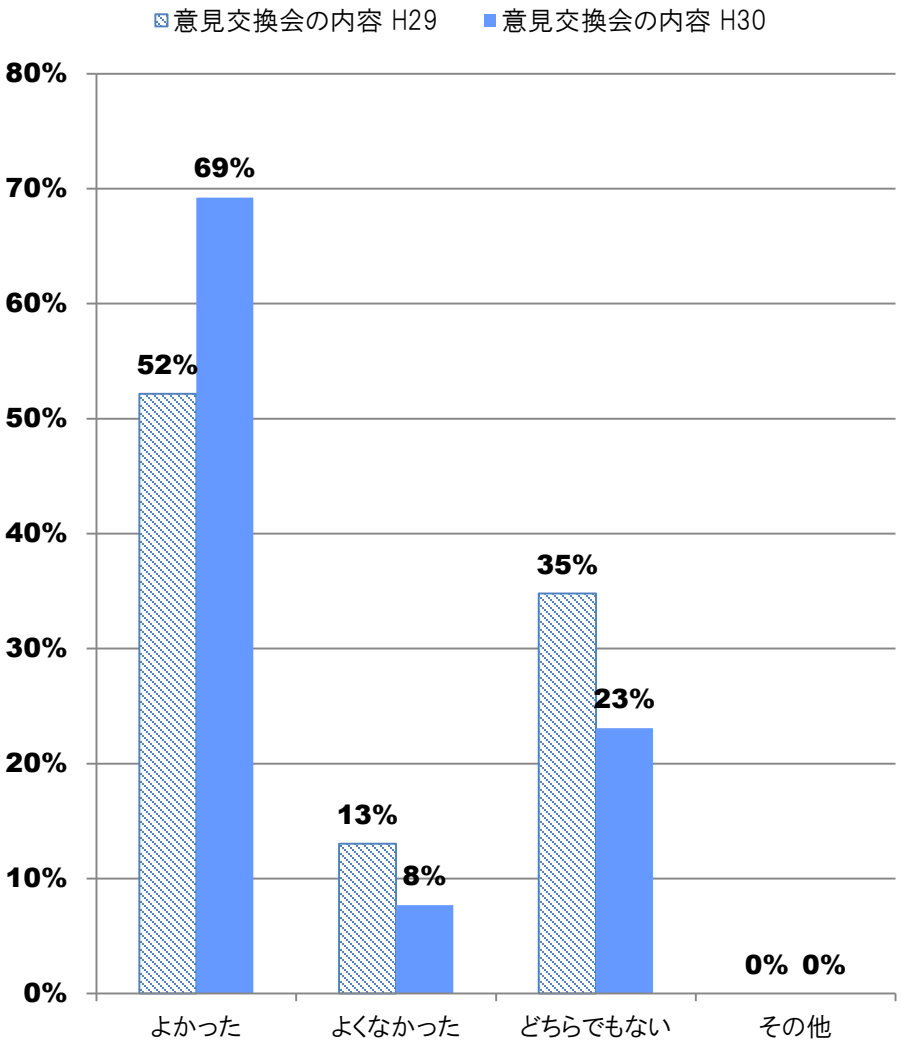


Q8 第1部 議会報告会の時間はどうでしたか？

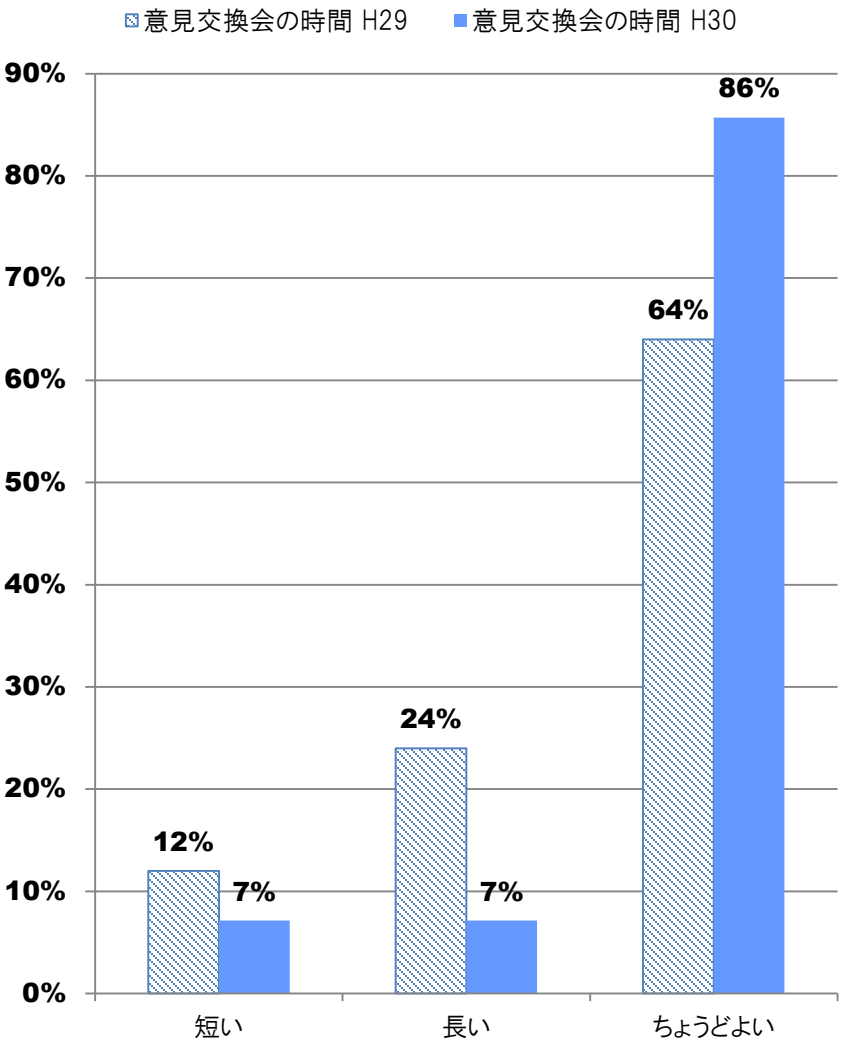


■3−2 比較分析 ＜＜片岡＞＞

Q9 第2部 意見交換会はどうでしたか？



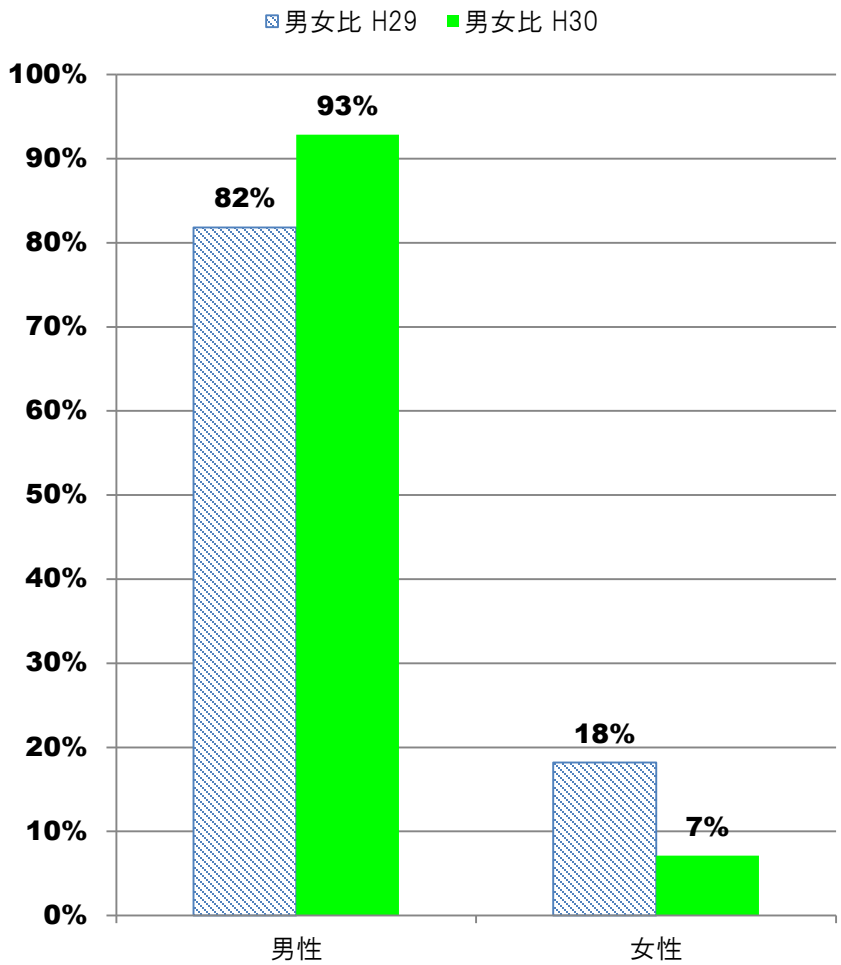
Q10 第2部 意見交換会の時間はどうでしたか？



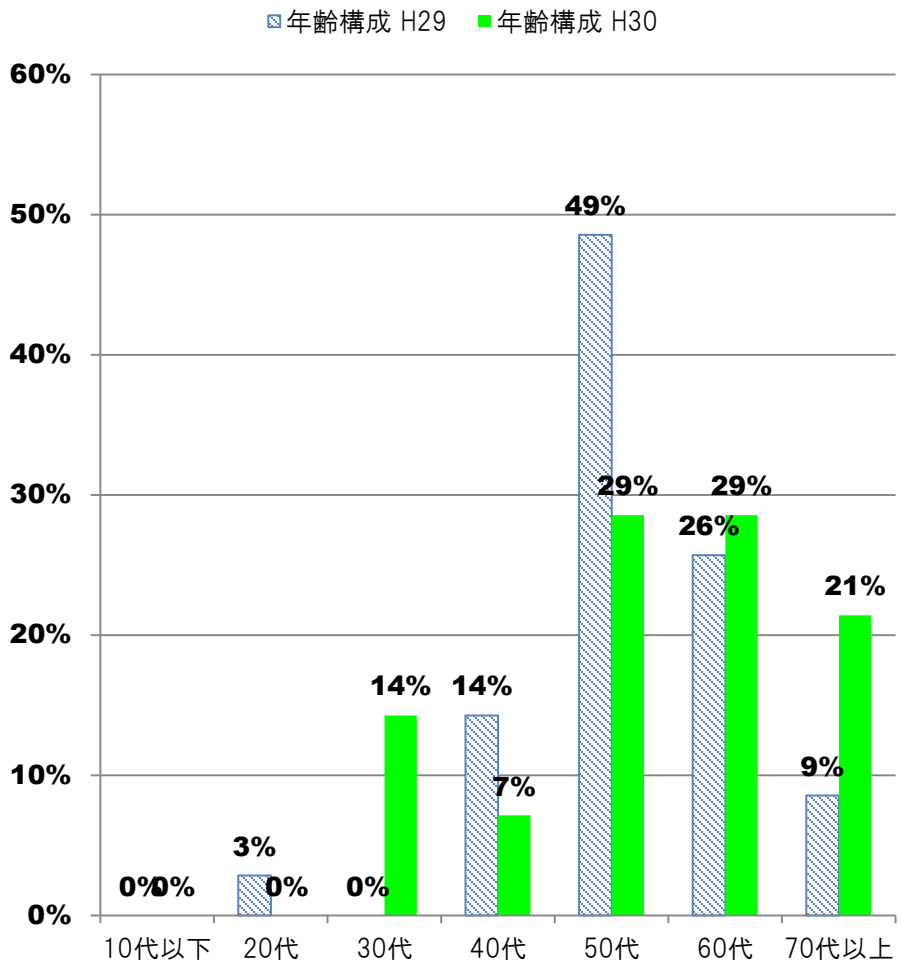
■3-3 比較分析 ＜＜矢板＞＞

Q1 ご自身についてお聞かせください。

男女比

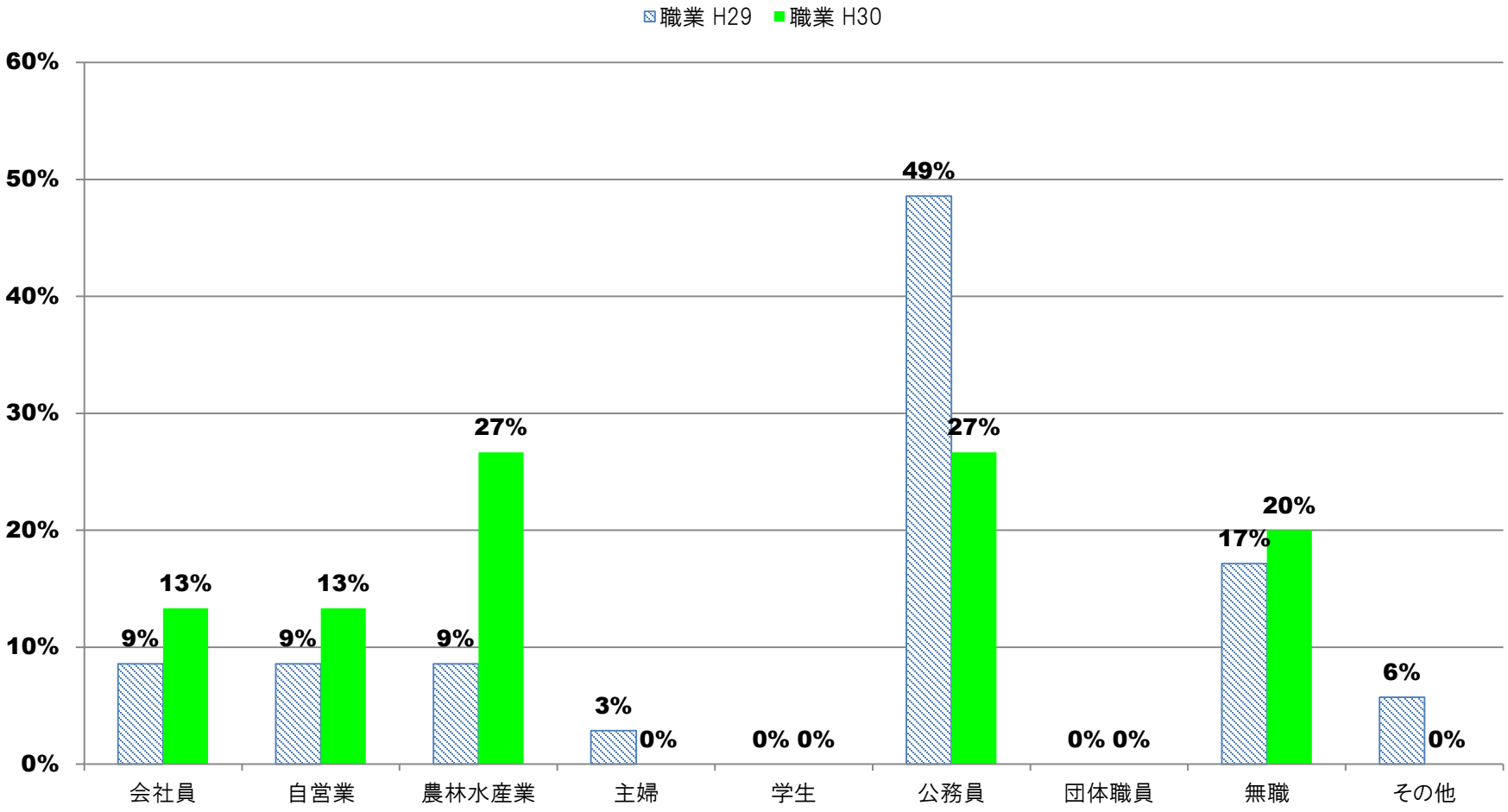


年齢構成



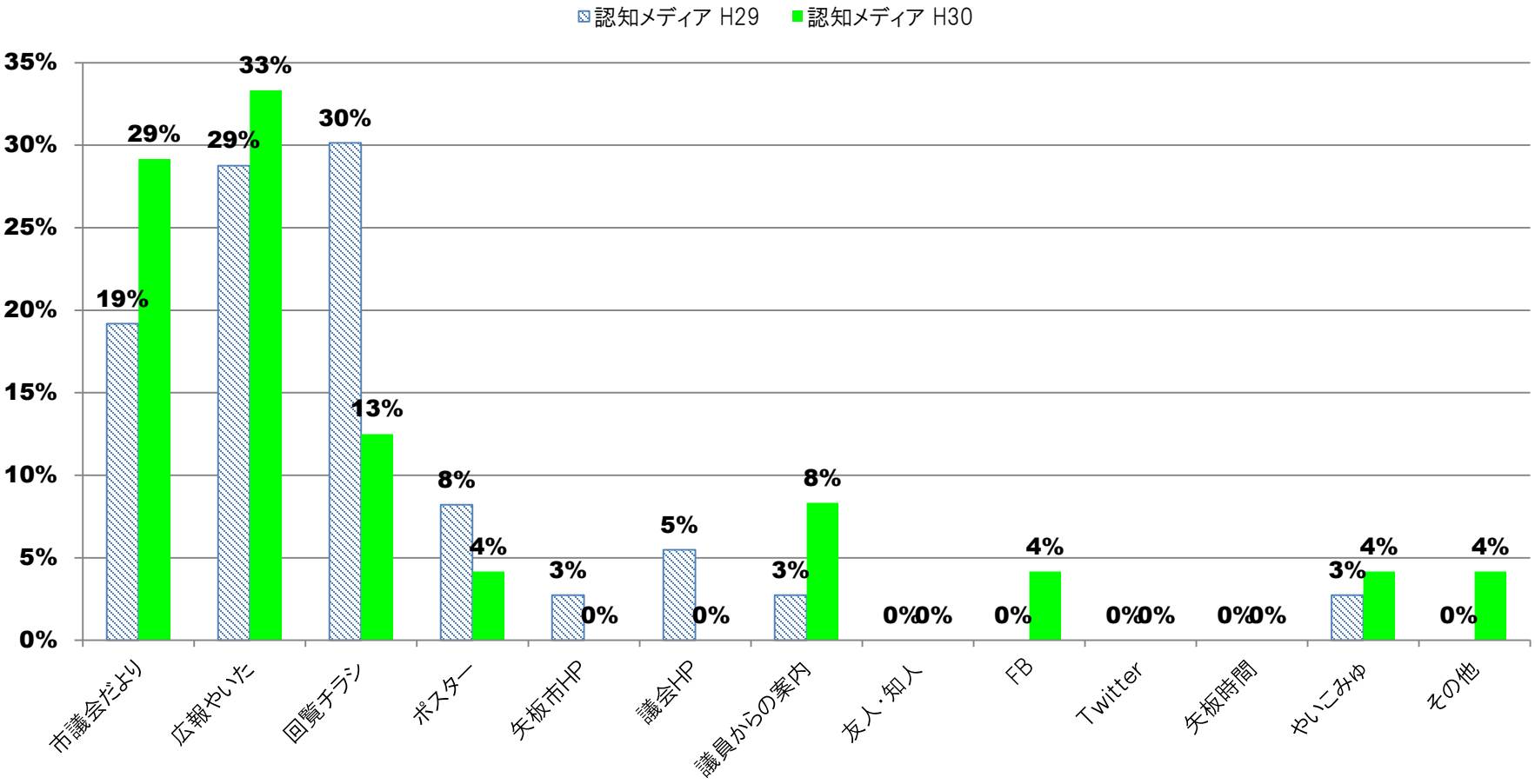
■3-3　比較分析　＜＜矢板＞＞

Q2　ご職業をお聞かせください。



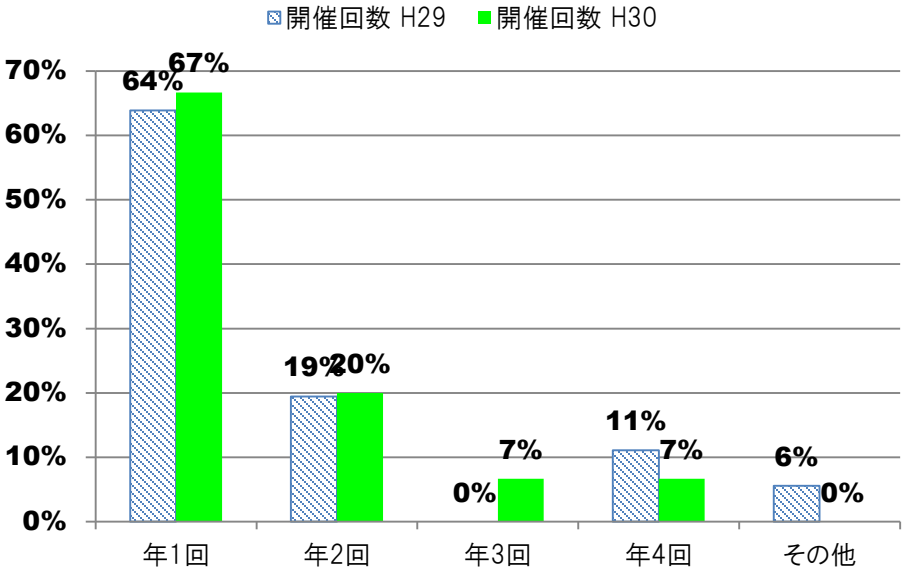
■3-3　比較分析　＜＜矢板＞＞

Q3. どのようにして「議会報告会・意見交換会」を知りましたか？　※複数回答可

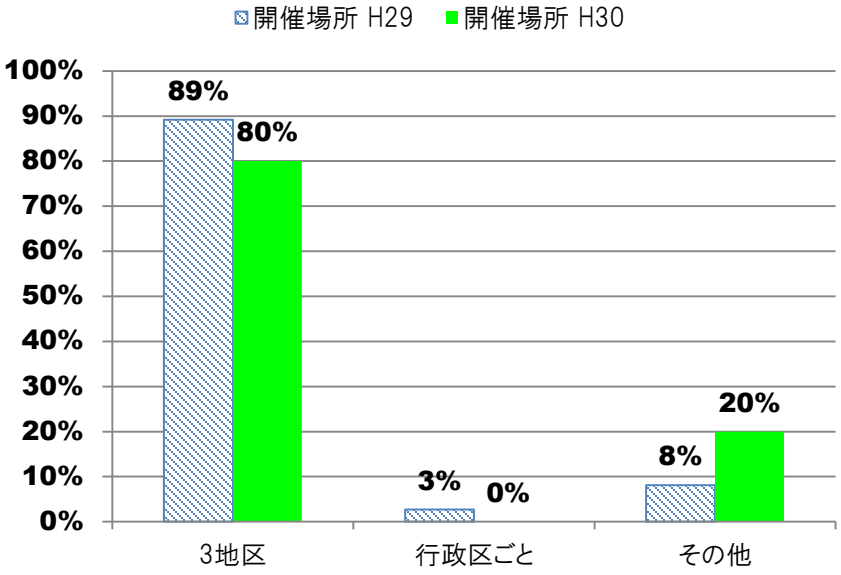


■3-3 比較分析 ＜＜矢板＞＞

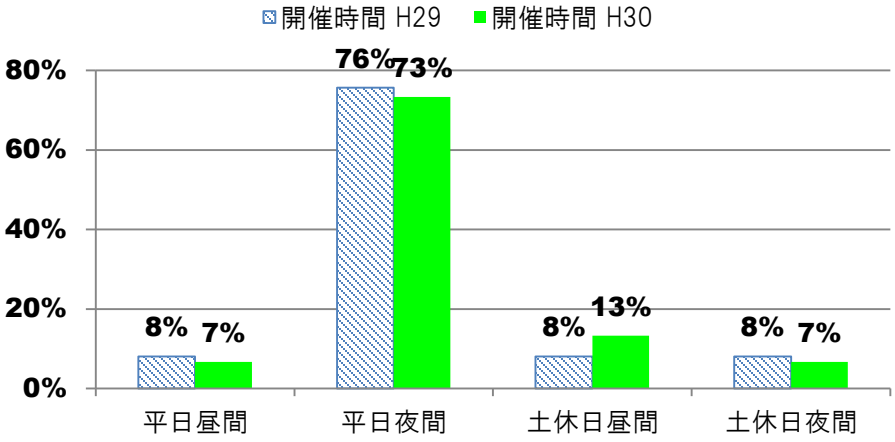
Q4 開催回数はどの程度がよいと思いますか？



Q5 今後、開催場所はどこがよいと思いますか？

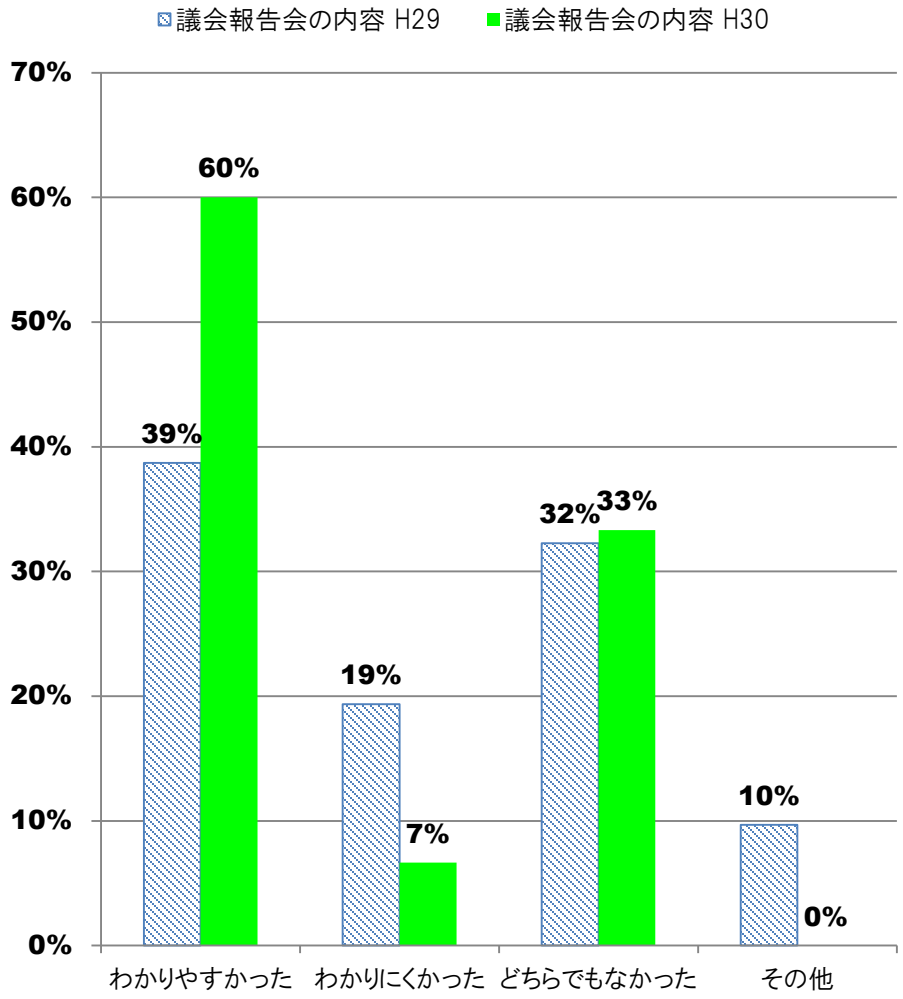


Q6 開催する時間帯は、いつごろがよいと思いますか？

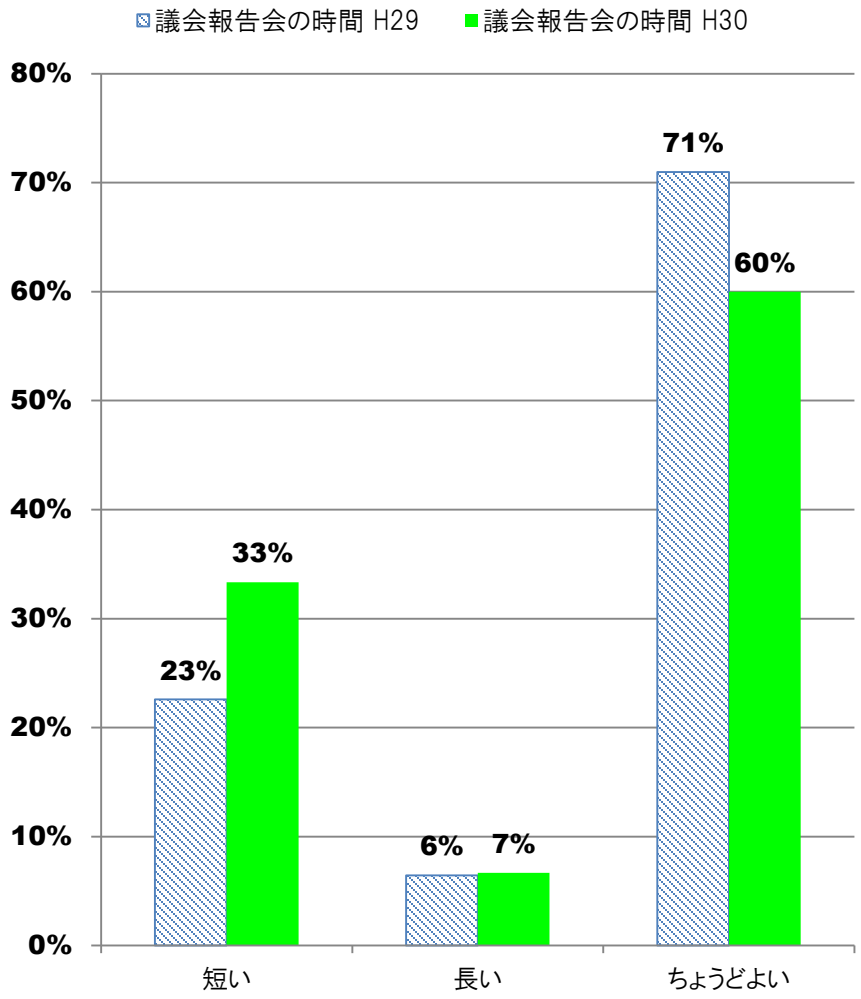


■3-3 比較分析 ＜＜矢板＞＞

Q7 第1部 議会報告会の内容は、わかりやすかったですか？

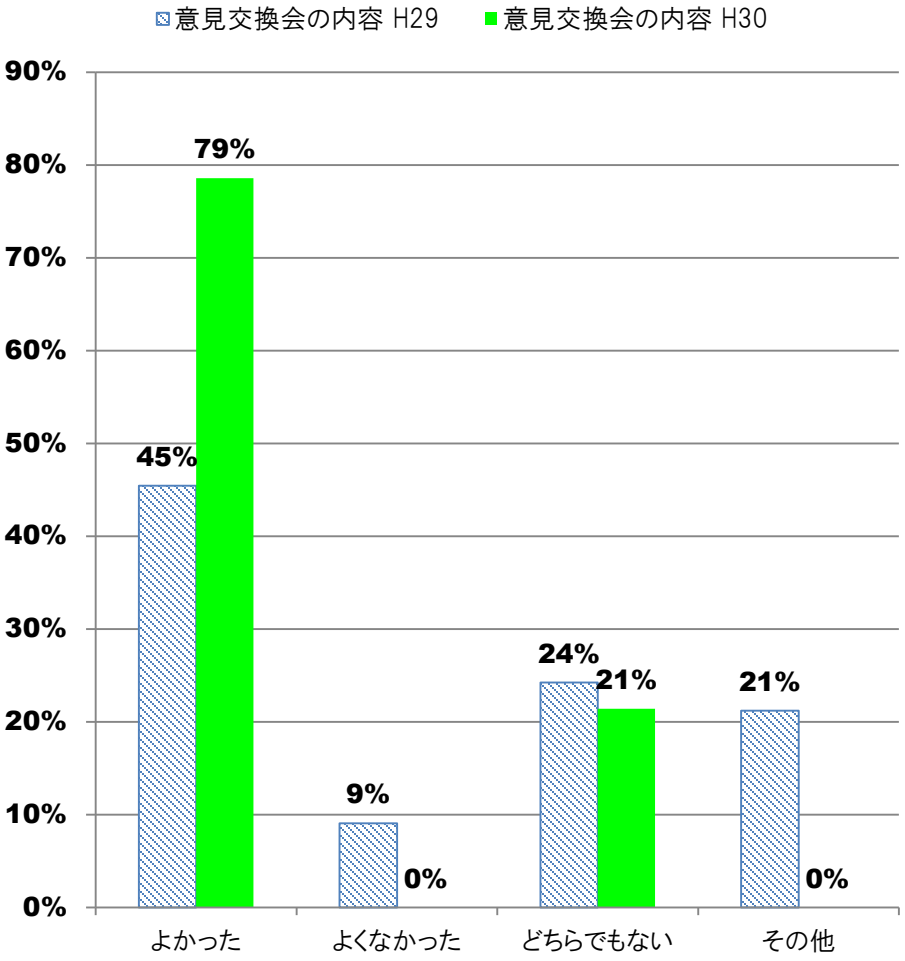


Q8 第1部 議会報告会の時間はどうでしたか？

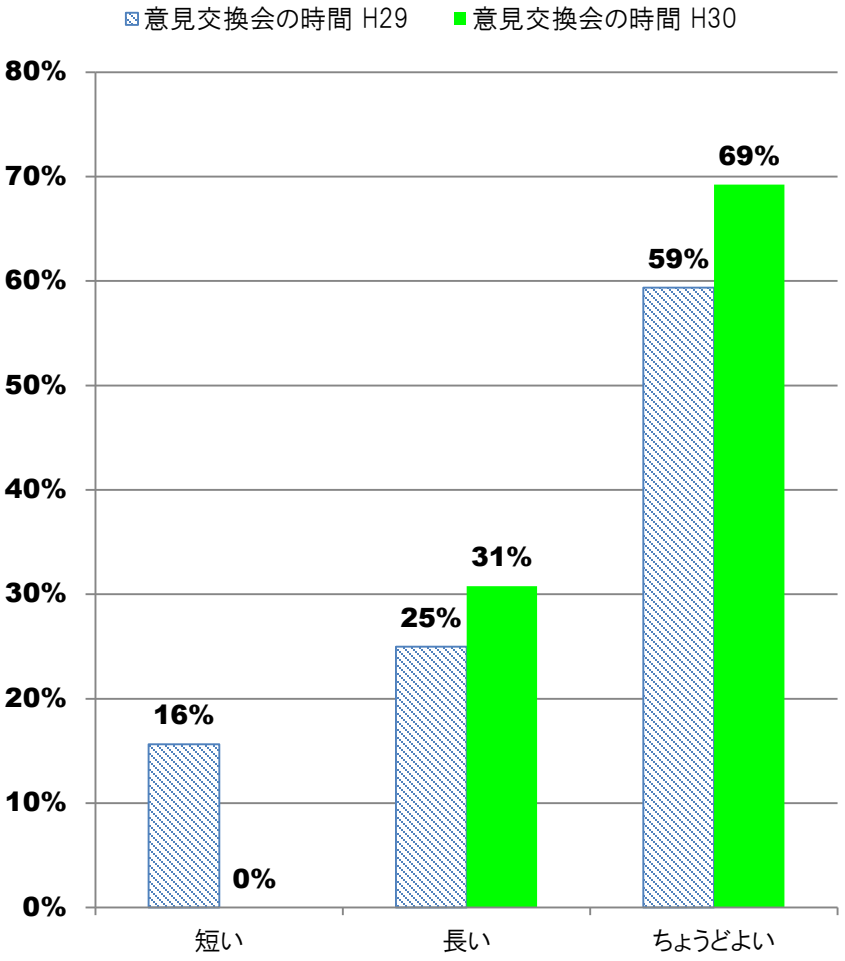


■3-3　比較分析　＜＜矢板＞＞

Q9　第2部　意見交換会はどうでしたか？



Q10 第2部　意見交換会の時間はどうでしたか？



議会報告会・意見交換会　報告書

<table>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="2">2018年10月10日（水）　19:00～21:00</td><td>開催場所</td><td>泉公民館集会室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">担当議員
［◎：班長
〇：副班長］</td><td colspan="4">◎小林勇治、〇藤田欽哉、宮本妙子、中村有子、大貫雄二</td></tr>
<tr><td>司会者</td><td>小林勇治</td><td>報告者</td><td>藤田欽哉</td></tr>
<tr><td>ご参加人数</td><td colspan="4">20名</td></tr>
</table>

第1部　議会報告会

NO	ご意見・ご提言	ご回答
1	定住してもらうために、減税等の対応策を考えるべき。（企業誘致奨励金制度）	ご意見として承ります。
2	「矢板市へようこそ」と歓迎する看板を多く設置してはいかがか。	

第2部　意見交換会
～共通テーマ･人口減少対策について～

NO	ご意見･ご提言
1	都会に人口が集中するのは仕事（働く場所）が多いから。矢板市は働く場所が少ない。近隣市町では色々な企業や商業施設を誘致している。矢板市は高速道路のインターチェンジ、ＪＲ線、国道等を擁しているのに人を呼び込む企業が来ないのはなぜなのか。行政の努力が見えてこない。矢板市が閉じていくような感じがする。
2	南産業団地は、ほぼ埋まっているというが雇用人数が少ないのではないか。
3	生産系の企業と同じように、大きな商業施設の誘致も必要。その施設が立地することにより街が活性化していくのではないか。
4	若者に魅力ある街にしていかなければいけない。そのためにも市内にある３つの高校の生徒さんに、どのような街なら住み続けたくなるのか等のアンケートなどをとり、若者の考えや現状を把握、分析し課題解決に繋げるべき。
5	若者にも高齢者にも楽しめる施設、魅力的なカフェや図書館、文化施設等を駅の近くに配置し、人の流れを作るべき。
6	自然災害が少ないことをアピールして人を呼び込むべき。
7	矢板市は道路網の整備が他市町よりはるかに遅れている。
8	矢板地区は土地が買い難い。昔ながらの地主感覚が未だに残っている。行政の規則、条例緩和が定住促進、人口増に繋がるのではないか。
9	廃校の利活用にもっと力を入れていくべき。
10	もう少し遅い時間までタクシーを走らせてほしい。
11	矢板市は他市町と比べて人を呼び込む施策が見えてこない。
12	自然減少を避けるには企業を増加させ定住促進を図るべきである。
13	広報・PRを一層進めて頂きたい。

14	スマートインターを中心としてハイウェイオアシスを整備して交流人口の増加を図る。
15	地域経済の活性化を図る。
16	リンゴ団地近隣の農地や古民家を貸して田舎暮らしを体験して頂く。
17	子供の結婚に対する問題（長男、長女が多い）があるので、なかなか結婚できない。
18	婚活イベント等、回数を増やすのはどうか。
19	矢板市内で働く職場が少なく、大田原や西那須野方面に行く人が多い。⇒通勤の利便性の向上を図るべき。
20	働く場所の確保と働き方の模索。
21	矢板の魅力のアピール、発掘。 住みたくなるまちづくり。安全、安心な町。
22	大都市に田舎暮らしをアピールする。
23	子育て支援を充実する。 教育費、医療費。
24	IT企業や大学の誘致。
25	中小企業を誘致する（手作業の多い業種）
26	商店街の活性化。各商店の客寄せの為の。
27	特に泉地区は、農業、林業から離れているのが現状。→農地や山が荒れる。→増々住む人が減る→第一次産業の振興の政策点検。

第2部　意見交換会
～地区テーマ･観光振興について～

NO	ご意見･ご提言
1	あるもの（資源）を上手に活用していない。泉地区は宝の山！
2	宿泊施設を増やしてはどうか。廃校を活用して宿泊施設にしてみてはどうか。
3	音楽合宿などができる防音設備の宿舎があれば小中高生の器楽部なども活用するのではないか。
4	矢板市独自の仕組みを作り宿泊可能な施設としての活用を考えてみてはどうか。
5	山や川、農業や酪農など地域の特性と素晴らしさをアピールすべき。
6	食を含めたイベントの開催をやってはどうか。例えば、秋の食材を利用した大々的な芋煮会等。
7	八方ヶ原の枯れ枝除去作業の時、ボランティアを大々的に募集してはどうか。
8	とにかく楽しいことをすること。
9	女性に選ばれる街にすること。
10	矢板市の観光といえばおしらじの滝である。迅速に遊歩道の整備をして頂きたい。
11	おしらじの滝は今のままが素晴らしいので神秘性を出すために最小限に整備しあとはそのままの方が良い。
12	おしらじの滝が有名になったのでボランティアガイドをつけてはいかがか。
13	おしらじの滝が何度もテレビ放映された効果があり、人が増えている。おしらじのうどんも有名になったのだから、他の食べ物もPRしてはいかがか？

14	おしらじソバの体験などを入れた民泊をして頂き、交流から定住へともっていく。
15	八方のツツジの開花時期に来訪者に対してB級グルメのような名物食を提供するといい。
16	１１月１１日の自治公民館のイベントでおしらじソバやおしらじ酒などを提供してみよう。
17	観光関係の特に危険な場所を整備して頂きたい。
18	赤滝、小滝、寺山鉱泉に宿泊して頂くようにPRする。
19	おもてなしということで、自治公民館や郷土資料館に民泊して頂ければよい。
20	寺山～山縣記念館ルートを整備する必要があるのではないか。
21	八方ヶ原を中心に観光開発のイベントを実施するのはどうか。
22	八方で観光に来た客に温泉のサービスはどうか。
23	八方道路の路肩の草除去が必要。ガードレールが見えない状況。
24	八方道路上の整備を要望。樹木の枝の除去。大型バスが苦労している様子。
25	ハイキングコース等の整備が必要ではないか。食事やトイレの設置が必要ではないか。
26	赤滝、小滝の看板を大きくするのはどうか。
27	お金はかかっても、多数の人が来れば、採算はとれる。メインの施設（キャンプ村等）はどうか。

～アンケート～

NO	ご意見・ご提言	ご回答
1	この時間を有意義にするには、実行性を上げる事では？ 具体的な施策を出し合う場が必要である。	ご意見ありがとうございます、次回の課題とさせていただきます。
2	矢板のまちづくりについて、もっと意見交換ができればよい。	ご感想ありがとうございました。
3	矢板市の議員さんの考え方は非常に進歩的だと思った。このような会にもっと以前から参加すべきだった。矢板市の財政力指数が低すぎる。残念ですね。	
4	初めて参加しましたが、非常に良かったです。開催が平日夜でしたので、これまでは参加できませんでした。地味で活気のない街ですが、自然豊かで、静かで、居心地の良い街です。良い方向に発展するように少しはかかわりを持ちたいです。	ご意見ありがとうございました。
5	若者へのアンケート　矢板の良いところ、悪いところ、ほしい店、会社、工場など	
6	まちづくりについて個別に話し合いを持ってほしい。議論の中にあった「高校生アンケート」をぜひ実施してほしい。	ご意見ありがとうございます、今後の課題とさせていただきます。

議会報告会・意見交換会　報告書

開催日時	2018年10月11日（木）　19:00～21:00		開催場所	片岡公民館コミュニティホール
担当議員 ［◎：班長 〇：副班長］	◎伊藤幹夫、〇髙瀬由子、佐貫薫、石井侑男、大貫雄二			
	司会者	伊藤幹夫	報告者	髙瀬由子
ご参加人数	24名			

第1部　議会報告会

NO	ご意見・ご提言	ご回答
1	増加をたどっている医療費について今後どういう方向にもっていくのか。自分でできることは自分で、自分でできないことは医療機関や公的機関へ頼るということにしないと破綻してしまう。	ご意見として承ります。
2	城の湯温泉について、湯の効能等をもっとアピールすべきではないか。健康に関する情報をもっと促し誘客に努めるべき。	
3	城の湯温泉センター付随のグラウンドゴルフ場は、デコボコ等整備が不備でないか。以前のようにきちんと整備してほしい。多くの方々が利用することによって健康増進が図られるのではないか。	
4	防災無線について、Ｊアラート以外の活用時には「こちらは防災矢板です」の代わりに音楽を流して市民に耳を傾けてもらえるよう工夫すべきではないか。	

5	スポーツツーリズム事業は、矢板市外の方の矢板市への定住促進につなげる施策かと思うが、定住にはつながっているのか。	矢板市に訪れる方が増えていることは数字から見て事実。定住に繋がっているか疑問は残りますが、矢板市に定住した方の経緯については議会では把握していないので、現在は相関関係は不明です。

第2部　意見交換会
～共通テーマ・人口減少対策について～

NO	ご意見・ご提言
1	若い人が結婚しない～そこで独身者対策をすべき。
2	定住を促進させるために魅力的な街を作っていくべき。
3	矢板市には魅力ある会社が少ない。
4	持続可能な就労ができ、安定した会社の必要性がある。
5	南産業団地内企業において地元雇用を増やしてほしい。
6	会社、企業等雇用の充実を願う。パートではなく正規社員、正規職員など安定した雇用形態を望む。
7	片岡の優位性を活用して、人を多く雇用する企業を誘致すべき。
8	片岡駅前の商店街の活性化を図るべき。そして、幹線道路に繋がる道路の整備が必須。
9	子育て環境の充実をもっと図るべき。
10	乙畑小学校の学童保育の充実に、行政がもっと力を注いでいくべき。ボランティアも限界を感じている。学童館・児童館の必要性がある。
11	そもそも、人口減少対策は無理なのではないか。
12	市外に出ていかせないようなまちづくりをして頂きたい。
13	働く場所がないと人口は増えないので、一人でも多く雇用してくれる会社を誘致する。

14	定住促進補助金を拡大し、住む場所を確保してあげることが大切。
15	空き家対策の補助をして、新規住人を増やしていく。
16	高校生が集える居場所作り。高校生が中心となり、アイディアを活かしたB1グルメ等はどうか。
17	スポーツツーリズム。自転車による町づくりには、それに対応した道路環境の整備と同時に安全運転教育の強化が必要ではないか。
18	食、スポーツ、ゲーム、遊び等ひとつを特化して、全国のマニア（オタク）が集まる町にするのはどうか。
19	お見合いの場や体験農業などを実施するのはどうか。
20	若者が矢板市で生活したくなるような活気ある町づくりが必要。
21	男女とも仕事と私生活の両立できる環境作りに積極的な企業の誘致。
22	若者、子供を大切にする。婚姻届け時、市長からの祝金贈呈や誕生祝金の増額等。
23	個人個人の意識改革も必要。→家事は女性の考え方はダメ。（女性も積極的に働ける環境づくり）
24	ベンチャー企業家を支援する取り組みを。お金だけでなく、やりやすい環境づくりを。
25	花街を作るのはどうか。
26	カジノを作るのはどうか。

第2部　意見交換会
～子育てしやすい環境づくりについて～

NO	ご意見･ご提言
1	子ども達の通学路の整備、歩道の整備、植栽等の整備の必要性がある。
2	地域全体で子育てをする。
3	青パトなどでの通学路の見守りの充実を願う。
4	地域の継続が心配～育成会の再興
5	核家族への対応～共働きしやすい環境をつくる。託児所などの整備の必要性（乳児保育の充実）
6	矢板市は「待機児童ゼロ」であることをアピールする。
7	定住するための魅力を作る～生活に必要なスーパーや病院等を増やす（生活の利便性）
8	塾やクラブに時間をとられている。ゲームやスマートフォンの普及により家に籠る時間が多い。子ども達同士で遊ぶ時間が少なすぎる。心配である。
9	片岡エリアは子育て環境作りに頑張っている。議会・行政も頑張って欲しい。
10	１００円でのB級グルメブースを作れば、さらに多くの集客が見込める。
11	現役ママ・パパ世代の実態調査が必要である。
12	乙畑ひまわりスクールはボランティアの方々がしつけまでしてくれるため、生徒が増加し続けている。場所とボランティアの確保が問題になっているので、行政の支援が必要である。
13	子ども見守り隊も活躍しているのでもっとPRして頂きたい。

14	「子育てするなら流山！」の流山モデルを研究して、子育て環境作りをすべきである。
15	子育て世代も女性もいないこの出席者に「子育て支援」のテーマは合っているのか？
16	子育ては子育て世代だけで、という考えでは進歩しない。核家族が多い中、地域のおじいちゃんとしても子育て孫育てに参画することが大切で、そのPRが「子育てしやすい環境作り」となるだろう。
17	事前に考える時間が欲しい。
18	小学校の統廃合が必要。小規模では生き抜く力が養えない。
19	小学校を統合し、スクールバス通学を導入するのはどうか。
20	夜まで預かる幼稚園（預かり保育）が必要ではないか。
21	緊急時に“面倒”を見てもらえる体制があると良い。（しっかりとした組織）
22	若い親が子育てにあたって、なんでも相談できる環境を作っていく。
23	家庭内における男性の協力と意識改革（子育てに関わる時間を増やす）
24	男性の育休取得率の向上（企業の意識向上） 長時間労働解消
25	男女共同参画社会への啓発
26	こども食堂。子供の貧困対策。
27	産後ケアへの公費負担。
28	ベビーシッターや学童保育はファミリーサポート、社協では力不足。市の直営ではどうか。

～アンケート～

NO	ご意見･ご提言	ご回答
1	事前に討議資料を配布しては。	ご意見として承ります。
2	矢板市は成人式の来賓（１５０人）を招待している。〈市議会議員、選挙管理委員、人権擁護委員、区長、校長、警察署長、交通安全協会長、体育協会長、文化協会長など１６役職員〉 次の委員は来賓として招待していない。〈監査委員、農業委員、民生委員、固定資産評価審査委員、〉この４委員は①法律に基づいて選ばれている。②議会で承認されている。③報酬が出ている。次の成人式からは上記の４委員を成人式の来賓として招待すべきである。（公正公平の対応である。）	ご提言として承ります。
3	資料が細かくて見づらい。マイクの音量、音質の調整をよくしてほしい。全議員の自己紹介が必要。グループ討議は大変よかった。	ご意見として承ります。今後の参考とさせていただくとともに、マイクについては対応を検討させていただきます。
4	初めての参加でした。企画はＯＫと思います。議員さんの進行もＯＫと思います（議員さんでないとまとめられないと思います）。学童保育・未就学児の設備、受け入れ態勢の充実を再検討願います。マイクが聞きづらかった。テーマが大きすぎた様な気がしました。（全国的なテーマの様な気がする。）	
5	マイクの音が悪くよく聞き取れない	
6	資料が小さくて見づらい。	
7	南産業団地企業誘致が進み、稼働をはやく、人が集まり就労先の確保、それにともなう道路の整備。通学路の整備（歩道の設置）。樹木等障害になっているもの除去。よろしくお願いいたします。	ご意見ありがとうございます。南産業団地周辺の道路整備、通学路の整備については、議会としても今後も注視してまいります。

議会報告会・意見交換会　報告書

開催日時	2018年10月12日（金）　19:00～21:00		開催場所	矢板市文化会館小ホール
担当議員 ［◎：班長 〇：副班長］	◎関由紀夫、〇櫻井惠二、中村久信、渡邉孝一、大島文男			
	司会者	関由紀夫	報告者	櫻井惠二
ご参加人数	21名			

第1部　議会報告会

NO	ご意見・ご提言	ご回答
1	（仮称）とちぎフットボールセンター敷地、残る３分の１の利用法を、（仮称）とちぎフットボールセンターと並行して方向付けをして、同時に効果を出すよう努めるべき。 資金調達にあたっては、クラウドファンディングやふるさと納税等の利用を考えていくべきではないか。	ご意見として承ります。
2	シャープ栃木工場の生産終了による遊休地の利活用について、企業にお任せではなく、市でも検討して、議会からも執行部に提案して、執行部と一緒に取り組んでほしい。代替の企業や、グラウンドと体育館もあるので学校を誘致することでもよいと思う。そのようなことを提案していただくなど積極的に議会も動いていただきたい。国道４号の玄関口であるので、放置されたような状態ではなく、元気な状態であってほしい。	要望として承ります。

第2部　意見交換会
～共通テーマ･人口減少対策について～

NO	ご意見･ご提言
1	住居、公園などの名称表示が必要。
2	小中学生登校中の道路の見回りをして安全対策の必要性があるのではないか。草木の繁茂による歩行困難の位置確認、防犯上の観点からも点検必須。
3	若者向け飲食店やカフェなどの必要性がある。矢板市の魅力に繋がり、他地区から人を呼び込めるまちづくりに繋がるのではないか。
4	矢板駅着の終電時間を延伸してもらえるようＪＲに働きかけてほしい。
5	八方ヶ原と県民の森、植樹祭会場跡地、育樹祭会場跡地などを一体化して、コンサート・星空観測などイベントを開催して人を呼び込み、交流人口増に繋げてみてはいかがか（あるもの活用）。
6	災害が少ない街と思っている人が多いが、さらに防災意識を高めて、生き残れる街としてアピールしてはいかがか。
7	逆指名のような形で、市民が欲しいと思う商業施設の誘致に取り組んでみてはいかがか。
8	矢板市内外の方に矢板を知って頂くことが大切だ。
9	矢板は広報・PRが下手である。今日も出席者が少ない。議会報告会のビラとしてわかりにくかったのでは？
10	一過性のイベントでも長期間継続することで経済効果UPし、交流人口から定住人口へなり得る。
11	道の駅やいたのお客様を市内にめぐらす施策を行い、活気を持たせるのが必要だろう。
12	イベントの数は多いが、関わる人が少ないと、規模が小さくなってしまう。市を挙げて開催するイベントを増やし、参加者を増やすことが大切だ。
13	祭りは地域の伝統であるから、祭りとイベントが一緒になっているものが長続きする。

14	高齢者の購買力は大きいので、市バスと連携したデマンドバスで「足の確保」をする。利便性を周知させる。
15	公民館をもっと若い人に活用してもらう（子供を含め）。体験してもらえる事業を展開していくのはどうか。
16	若い人達にもっと住みやすく、住民税の特別優遇、あるいは固定資産税を子育て中は減免するのはどうか。
17	とび込み家庭のすすめ。核家族への手助け。急病の時の保育や子育ての手伝いなどが必要ではないか。
18	学校跡地をもっと利用すべきではないか。
19	塩田ダムをもっと利用するのはどうか。スマートインターができると近い。
20	第一次産業のすすめ。農地の新しい担い手に世話をするのはどうか。
21	矢板から他の地域へ通勤するための、道路整備はどうか。（通勤可能な）
22	矢板は災害の少ない所なので、もっとアピールして、移住してもらってはどうか。
23	中央高校サッカー部の住居の確保が必要。ヴィレッジハウス、雇用促進住宅の有効活用。空き家の活用。子供の遊び場の確保。
24	雇用の確保→1企業1名採用など。子育て環境の改善。

第2部　意見交換会
～地区テーマ・空き家等対策について～

NO	ご意見・ご提言
1	一人住まい・高齢になる前に自分はどうすべきか考えられるうちに行政から説明があるべきではないか。
2	空き家を増やさないために、所有者に対して行政がこういったフォローができると伝えるべき。
3	市民から空き家に関し通報できる窓口を市役所内に設置していくべきか。
4	空き家等の調査を自治会の協力をいただいて行うべき。
5	公図混乱地区があるので、まずは地籍調査を進めるべきである。
6	利用できる空き家を多世代のたまり場作りにしていくのがよい。市としての活用補助内容を考えていくべきである。
7	空き家を寺子屋のような学びの場にしてはいかがか。
8	核家族が多いので様々な支障をきたしている。２世代３世代が同居することで良い効果が現れる。そのためには、空き家の改修補助があったら良い。
9	ホームステイや地域外留学の受け入れにより、まちが活性化する。空き家を上手く利活用できれば交流人口を増やせる。
10	空き家をスポーツツーリズムの宿泊先として使えれば、宿泊所不足を補えるだろう。
11	育成会やPTAの経験を活かして地域内留学も可能である。
12	民生委員が２名、ホームステイの役員になって活動を展開し、大臣表彰を受けている都賀町などの例を参考に取り組むのはどうだろうか。
13	矢板中央高校のサッカー部の住居として空き家利用はどうか。160人中100人がアパート利用。

14	農家に住みたい人もいると思うが、車に乗れなくなってからが不安。
15	危険な空き家は、早急に相続人を探して市民のボランティアで解体するのはどうか。
16	1年に少数の件数を決めて、安くリフォームしてインターネットに載せて売る。年間5件、リフォーム代を補助

～アンケート～

NO	ご意見・ご提言	ご回答
1	とても良い機会であるのに、こんなに人がいないともったいないと感じました。ほかのイベント等と合わせて開催する等、もう少し工夫が必要ではないでしょうか。	ご意見ありがとうございます、次回の課題とさせていただきます。
2	とってもいい意見交換でした。出席者がもう少しあればよかったと思う。	
3	初めての参加でしたが、議員さんがたの熱意が伝わりました。市民との距離が近く感じることができました。今後も続けてほしいです。	ご意見ありがとうございます、矢板市議会では、平成２７年に「矢板市議会基本条例」を制定し、その第６条で議会報告会を行うことを規定しています。今後も市民の皆さまとの距離が近い議会であるよう努力してまいります。
4	議会として、市の将来ビジョンを明確にして、優先順位をつけてスピード感をもって取り組みましょう。	ご意見として承ります。
5	議員さんは、私たちの代表であるという意味で、こういう取り組みはとても身近に感じました。最終的に人が街づくりをしていくのだから、このような意見交換会をもっとやっていくとよい。もっと多くの人に集まってもらえるようＰＲするとよいと思います。来年はワールドカフェ方式でほかの班の方々とも交流してみたらどうか？	ご意見ありがとうございます、次回の課題とさせていただきます。
6	コリーナ球場にトイレを設置して欲しい。空き家を借り入れしているが、改修ほかの初期費用が欲しい。多世代の交流の場を作っていく。ホームステイを増やして欲しい（合宿補助は使えないのか）。	ご意見として承ります。
7	参加者をもっと多くしてほしい。多くの意見を集められるようにしてほしい。	ご意見ありがとうございます、次回の課題とさせていただきます。

8	もっと矢板市のまちづくり等を強く考えていくようにしていった方が良いと思います。	ご意見として承ります。

平成30年11月20日

以上のとおり、報告致します。

矢板市議会議長　和田安司